

みやぎ森と緑の県民条例基本計画による

令和2年度の施策の実施状況等



令和3年9月

宮城県水産林政部

目 次

1	はじめに	1
2	宮城県の森林、林業・木材産業を巡る最近の情勢	1
3	宮城県の森林・林業・木材産業の主な動向	3
4	みやぎ森と緑の県民条例基本計画について	
(1)	計画期間	4
(2)	森林、林業・木材産業の目指す姿	4
(3)	森林・林業行政の理念	4
(4)	政策推進の基本方向	4
(5)	12の取組と重点プロジェクト	5
5	基本計画の推進体系と目標指標	
(1)	政策の推進方向体系図	6
(2)	基本計画における目標指標と令和2年度実績	7
6	施策の実施状況	
	政策Ⅰ 林業・木材産業の一層の産業力強化	
	取組1 県産木材の生産流通改革	8
	取組2 県産木材の需要創出とシェア拡大	11
	取組3 持続可能な林業経営の推進	15
	政策Ⅱ 森林の持つ多面的機能のさらなる発揮	
	取組4 資源の循環利用を通じた森林の整備	17
	取組5 多様性に富む健全な森林づくりの推進	20
	取組6 自然災害に強い県土の保全対策	24
	政策Ⅲ 森林、林業・木材産業を支える地域や人材の育成	
	取組7 持続的成長をけん引する経営体や担い手の育成	27
	取組8 地域・産業間の連携による地域産業の育成	31
	取組9 新たな森林、林業・木材産業関連技術の開発・改良	33
	取組10 森林、林業・木材産業に対する県民理解の醸成	34
	政策Ⅳ 東日本大震災からの復興と発展	
	取組11 海岸防災林の再生と特用林産物の復興	36
	取組12 地域資源をフル活用した震災復興と発展	39
7	重点プロジェクトの取組	
	プロジェクト1 新たな素材需給システムと木材需要創出	41
	プロジェクト2 主伐・再造林による資源の循環利用	43
	プロジェクト3 経営能力の優れた経営者の育成、新規就業者の確保	44
	プロジェクト4 地域・産業間連携による地域資源の活用	45
	プロジェクト5 海岸防災林の活用等による震災の教訓伝承と交流人口の拡大	46
8	各圏域ごとの取組	47

1 はじめに

県では、林業・木材産業の振興と森林の整備・保全に関する施策を推進するため、平成20年に「みやぎ森林・林業の将来ビジョン」を策定し、各種施策を展開してきました。平成30年3月には、平成30年度を始期とする10年間の森林・林業行政の新たな指針として「新みやぎ森林・林業の将来ビジョン」（以下、「新ビジョン」という。）を策定、施策の一層の強化を図ることとしました。

新ビジョンは、県議会により提案された「みやぎ森と緑の県民条例」（以下、「条例」という。）が定める「森林づくり並びに林業及び木材産業の振興に関する基本的な計画（みやぎ森と緑の県民条例基本計画）」として位置づけられています。

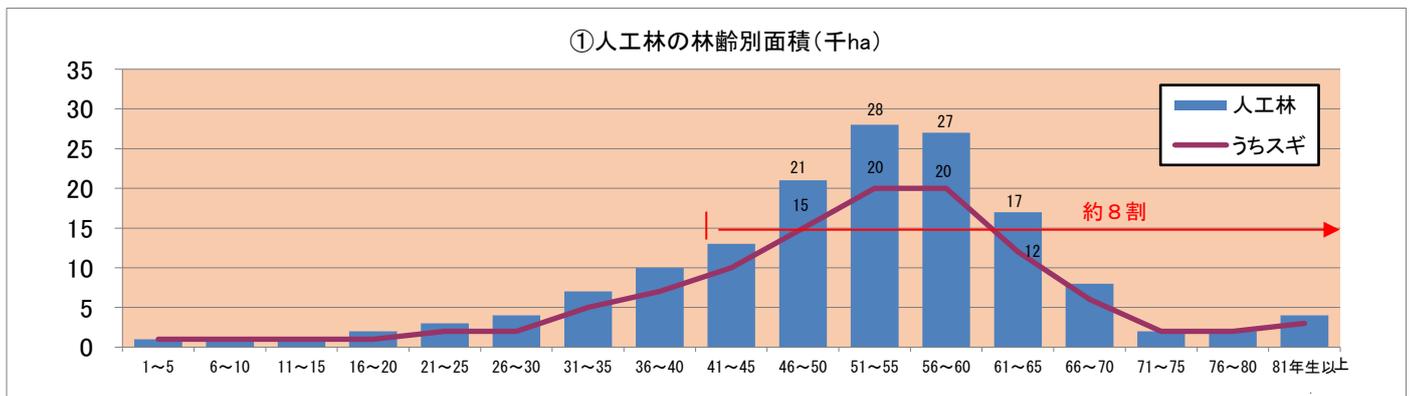
条例では、毎年度、県の森林づくり並びに林業及び木材産業の振興に関する施策の実施状況等について、議会に報告することが定められていることから、本書では令和2年度に取り組んだ主な施策の実施状況について報告するほか、令和3年度の主な取組を公表するものです。

2 宮城県の森林、林業・木材産業を巡る最近の情勢

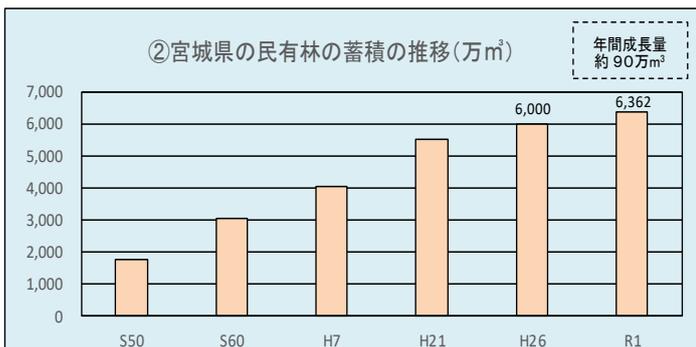
（1） 森林資源の現状と木材の需給状況

我が県の森林面積は、約41万7千ha（全国第22位）で県土面積の57%を占めています。

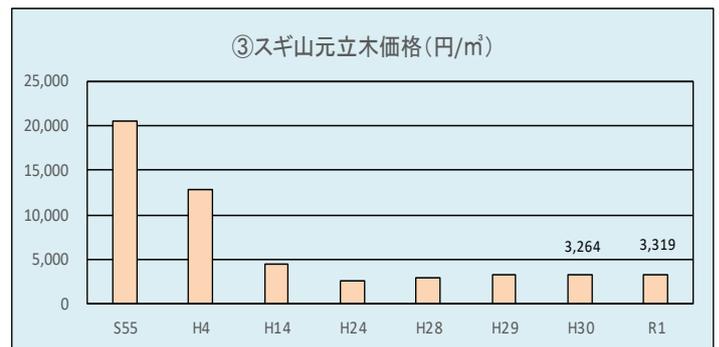
このうち、民有林（28万6千ha）では、戦後、植栽されたスギ人工林を中心として、収穫の目安となる41年生以上の林分が8割を占めるほか、1年間の森林資源の成長量が約90万 m^3 に達するなど、本格的な利用期を迎えています。



資料：宮城県資料



資料：宮城県資料



資料：（一財）日本不動産研究所「山林素地及び山元立木価格調」



資料：農林水産省「木材需給報告書」



資料：農林水産省「木材需給報告書」

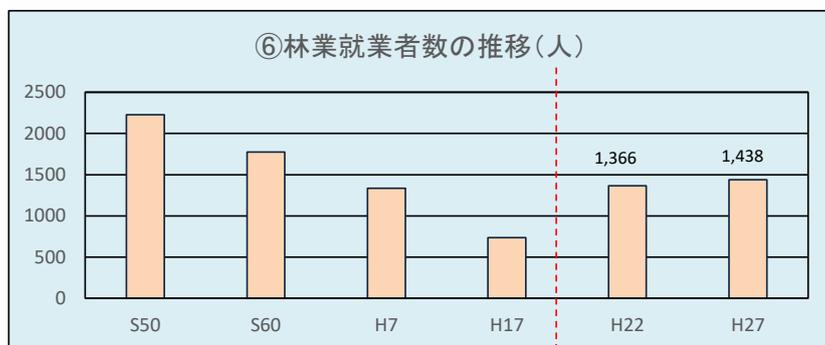
我が県の木材需給は、県内に合板工場、大型製材工場、製紙工場等が立地していることで全国屈指の木材需要がある（全国第6位）一方、素材生産量は58万m³（令和2年次）と民有林の年間成長量以下にとどまっており、県産木材を安定的に供給する体制の構築や県産材の利用推進が課題となっています。

今後、良質な木材の生産はもとより、地球温暖化防止など森林の多面的機能の発揮を維持していくためには、これまで以上に間伐や再造林などの適切な森林整備を進める必要があります。「木を使い、植え、育てる」という循環利用を進めることが重要な課題となっています。

なお、令和2年度の素材需要量及び素材生産量の減少については、新型コロナウイルス感染症の影響による素材流通の停滞が原因と考えられ、今後も動向の把握が必要な状況にあります。

（2） 林業担い手の現状

県内の林業就業者数は、平成27年国勢調査によると1,438人と、前回の平成22年調査から5.3%増加しましたが、そのうち65歳以上が20%を占めるなど、全体的に高齢化の解消には至っておりません。また、県内の新規就業者数は、東日本大震災以降、毎年49～78名で推移しています。



資料：国勢調査 ※「日本標準産業分類」の改訂により、H22以降のデータは、前年度までの結果と連続性はなし。

今後、森林の整備や管理、木材生産の拡大を図るためには、新規就業者の確保や就業者の就労環境の改善、森林組合や民間林業事業体の経営基盤の強化などが課題となっています。

（3） 森林所有者の経営意欲の低下

我が県の森林保有形態は、所有面積3ha未満の林家数が全体の6割を占め、小規模で分散しており、個々の森林所有者が単独で効率的な森林施業を実施することが困難な状況にあります。また、森林所有者の収入に当たる山元立木価格は、昭和55年の20,491円/m³（県内のスギの例）をピークに長期的には減少を続けており、近年は3,000円/m³程度と低迷しています。

これにより林業採算性が悪化し、森林所有者の森林経営意欲の減退が進むとともに、森林所有者の高齢化や不在村所有者の増加等により管理放棄される森林や、相続に伴う所有権の移転等による所有者や境界が不明な森林が増加しており、それらの森林を中心に土砂流出防備等の公益的機能の低下も懸念されています。

(4) 令和元年東日本台風による林業関連被害

令和元年10月12日から13日にかけて、本県沿岸部を通過した令和元年東日本台風は、全国の広い範囲に記録的な大雨をもたらし、本県でも丸森町大内において、24時間雨量が604ミリに達するなど、各地で記録的な降水量が観測されました。これにより、林道施設や林地等では、甚大な被害が発生しました。

令和元年東日本台風による林業関連被害

被害種別	市町村数	被害内訳	被害額(千円)
林道被害	26	381路線, 1,244箇所	4,310,759
林地被害	23	221箇所	9,753,130
治山施設被害	7	22箇所	51,192
林産施設等被害	15	41件	222,787
計			14,337,868

3 宮城県の森林、林業・木材産業の主な動向

(1) 「みやぎ森林・林業未来創造機構」の設立

産業界・地域・行政などの多様な主体が連携・協働し、林業における「就業環境の向上」と「人材の確保・育成」の取組を一体的に展開するため、令和2年12月15日に「みやぎ森林・林業未来創造機構」を設立し、人材育成プログラムなどの検討を行っています。

(2) 森林経営管理制度による支援

適切な経営管理が行われていない森林の整備を図るため、平成31年4月1日から始まった「森林経営管理制度」の主体となる市町村への支援を、森林環境譲与税を活用しながら推進しています。

(3) スマート林業の推進

林業の成長産業化に向けて、ICTなどの先端技術の活用による、森林の調査、資源管理及び生産流通の各段階における効率化や省力化を目指す「スマート林業」を推進しています。

(4) 県産CLT等の新たな木材需要の創出

林業・木材産業の一層の産業力強化を目指し、非住宅分野や中高層建築物等における木材利用の推進に向け、CLT活用等による新たな木材需要の創出を図っています。

(5) 令和元年東日本台風災害からの復旧

(林道関係) 101路線219箇所において、林道施設災害復旧事業による復旧事業が進められ、このうち、27路線46箇所です工事が完成しています。

(治山関係) 90箇所の復旧を計画しており、このうち、早急に復旧が必要な21箇所について、災害関連緊急治山事業により最優先で復旧を進めています。

(6) 新型コロナウイルス感染症に伴う経済対策

新型コロナウイルス感染症による影響で需要が減少した県産材の需要喚起を図るため、新しい生活様式への対応を図る飲食店や商業施設等に対する改装・改築等の木造・木質化を支援しました。

また、県産材使用飛沫防止パネルを県庁舎等に設置し、感染防止対策とともに、木の良さや利用する意義について、広く普及啓発を行いました。

4 みやぎ森と緑の県民条例基本計画について

「みやぎ森と緑の県民条例基本計画」（平成30年4月）では、我が県の森林、林業・木材産業の情勢及び現状を踏まえ、森林づくりと林業・木材産業の振興を図るため、4つの政策推進の基本方向を掲げ、取組を進めることとしています。

（1）計画期間

10年間（平成30年度～令和9年度）

（2）森林、林業・木材産業の目指す姿

“木を使い・植え・育てる”循環の仕組みが定着し、旺盛な木材需要の下で県産材自給率が向上することにより、県内林業・木材産業が活力あふれる循環型産業として成長しています。

また、水源の保全、県土保全や地球温暖化防止など森林の持つ多面的機能が発揮され、県民が森や木を身近に感じながら安心して暮らせる宮城が実現しています。

（3）森林・林業行政の理念

「森林環境の保全」「低炭素社会の構築」「地域経済の発展」

それぞれが共存し、均衡が取れた宮城の森林・林業

（4）政策推進の基本方向

本県森林、林業・木材産業の情勢及び現状を踏まえ、目指す姿を実現するために、以下4つの政策推進の基本方向に沿って取り組んでいきます。

政策Ⅰ 林業・木材産業の一層の産業力強化

我が県の森林は、戦後植林されたスギを中心に成熟し、民有林では収穫の目安となる41年生以上の人工林が8割を占めるほか、年間100万㎡近い成長量がストックされるなど、本格的な利用期を迎えています。また、我が県は東北地方最大の消費地仙台を擁しているほか、全国有数の生産規模を誇る合板工場群の立地や、大型製材工場の新設などにより生み出される、豊富な木材需要を有しています。我が県が持つこれらのポテンシャルを最大限に活かし、県産木材の生産流通改革や新たな需要創出のほか、持続可能な林業経営の推進に取り組み、林業・木材産業のより一層の産業力強化を図ります。

政策Ⅱ 森林の持つ多面的機能のさらなる発揮

森林は、木材などの林産物の供給、水源の涵養、県土の保全、地球温暖化の防止など、私たちの生活に欠かすことのできない多くの役割を果たしています。これら森林の持つ多面的機能をより一層発揮させるため、「木を使い、植え、育てる」という森林資源の循環利用を通じた森林の整備をしっかりと進めるほか、県民参加型の森林づくり活動の支援や健全な森林を維持するため森林病虫獣害の防除などによる、多様性に富む健全な森林づくりの推進、治山対策や適切な保安林・林地開発制度の運用などによる自然災害に強い県土の保全対策に取り組めます。

政策Ⅲ 森林、林業・木材産業を支える地域や人材の育成

林業・木材産業の産業力強化と森林の多面的機能発揮を図るためには、これらを支える地域や人材の育成を欠かすことはできません。このため、経営感覚に優れ、林業・木材産業の持続的成長をけん引できる経営者や、伐木・造材及び伐採後の再造林や保育等を担う林業従事者の育成を図るほか、地域間や産業間の連携により、新しいものづくりや地域産業の育成に取り組みます。また、新たな森林、林業・木材産業関連技術の開発・改良、森林環境教育を通じて森林の保全や循環型産業としての林業・木材産業の重要性に対する県民理解の醸成に取り組みます。

政策Ⅳ 東日本大震災からの復興と発展

平成23年に発生した東日本大震災で被災した我が県の森林、林業・木材産業の復興に向け、関係者が一丸となって取り組んできたところであり、引き続き、創造的な復興に向けて着実に歩みを続けていく必要があります。このうち、海岸防災林の再生については、植栽したクロマツ等が健全に生育するよう計画的な保育・管理に取り組むほか、特用林産物の復興に向け、福島第一原子力発電所事故に伴う出荷制限の解除や、原木しいたけ等の生産回復などに取り組みます。また、地域の森林資源をはじめ、自然・景観・歴史などの地域資源を最大限に活用するほか、震災を契機に絆が生まれた都市と農山地域との交流などによる地域産業の活性化や魅力ある地域づくりなどに取り組みます。

(5) 12の取組と重点プロジェクト

(2)に掲げた森林、林業・木材産業の目指す姿の実現に向け、4つの政策推進の基本方向に沿った**12の取組**により各種施策を積極的に展開していきます。

50年後、100年後の宮城の森林、林業・木材産業の姿を考えた際に、県がこの10年間で取り組む施策の中でも特に力を注いでいくべき取組を「**重点プロジェクト**」として**5つ設定**し、国、市町村、林業・木材産業関係者はもとより、県民や企業、ボランティア団体など多様な主体の協力を得ながら推進していきます。

5 基本計画の推進体系と目標指標

(1) 政策の推進方向体系図



(2) 基本計画における目標指標と令和2年度実績

我が県の森林づくり並びに林業及び木材産業の振興に関する政策の有効性や効果を検証するために設定した18項目の目標指標に係る令和2年度の実績は下記のとおりです。

注) 実績欄で未確定の箇所は「－(おおよその公表時期)」で表示。

みやぎ森と緑の県民条例基本計画 目標指標実績(令和2年度)

番号	目標指標	単位	参考値		実績			目標 R9
			H28	H29	H30	R1	R2	

政策Ⅰ 林業・木材産業の一層の産業力強化

1	素材生産量	(年間)	千m3	586	578	614	610	576	700
2	林業(木材)産出額	(年間)	億円	44	45	48	49	－ (R4.3)	56
3	木材・木製品出荷額	(年間)	億円	792	854	849	847	－ (R4.9)	980
4	木質バイオマス活用施設導入数	(累計)	基	41	55	61	64	64	60
5	CLTを用いた建築物の建設棟数	(累計)	棟	2	4	8	11	16	54
6	森林経営計画の策定率	(累計)	%	29	27	28	27	26	60

政策Ⅱ 森林の持つ多面的機能のさらなる発揮

7	間伐実施面積	(年間)	ha	3,661	3,162	3,555	3,303	－ (R3.9)	5,600
8	植栽面積	(年間)	ha	238	301	265	315	－ (R3.9)	400
9	松くい虫被害による枯損木量	(年間)	m3	13,700	14,935	13,215	9,612	10,151	10,000
10	保安林の指定面積	(累計)	ha	67,203	67,495	67,779	68,274	68,966	70,872
11	山地災害危険地区(Aランク)の治山工事着手率	(累計)	%	56 (234/418)	45 (258/572)	47 (320/676)	48 (327/686)	49 (339/694)	65

政策Ⅲ 森林、林業・木材産業を支える地域や人材の育成

12	新規林業就業者数	(年間)	人	54	48	48	48	42	100
13	森林施業プランナー雇用林業事業者数	(累計)	事業者	7	15	16	18	19	28
14	林業(特用林産物)産出額	(年間)	億円	37	35	36	37	－ (R4.3)	46
15	宮城県森林インストラクター認定者数	(累計)	人	578	607	630	649	649	900

政策Ⅳ 東日本大震災からの復興と発展

16	海岸防災林(民有林)造成面積	(累計)	ha	228	340	558	721	747	750
17	原木きのこ出荷制限(自粛)解除生産者数	(累計)	人	31	39	44	49	52	66
18	特用林産生産施設のGAP認証取得数	(累計)	件	2	2	3	5	5	15

6 施策の実施状況等

<政策Ⅰ 林業・木材産業の一層の産業力強化>

取組1 県産木材の生産流通改革

1 素材生産性を向上させる林業基盤の整備と人材の育成 【関連:重点プロジェクト1・3】

(1) 高性能林業機械の新規導入等に関する支援

主な取組状況

1 取組内容

林業・木材産業の産業力強化を図るため、川上側での生産性向上に向けた高性能林業機械等の導入や、川下側での製品の高付加価値化・競争力強化等に向けた合板・製材工場等の木材加工流通施設の整備を支援する。

2 令和2年度の実績

(1) 高性能林業機械の導入、木材加工流通施設、木質バイオマス施設等の整備を支援した。

【概要】

- ・ 林業成長産業化総合対策交付金事業（施設等導入）
米川生産森林組合（林業専用道） 他8件
- ・ 合板・製材・集成材国際競争力強化対策事業
石巻合板工業（株）（単板製造機械、接着機械、ドライヤー） 他3件

(2) 新型コロナウイルス感染症対策として、接触機会を低減するため、情報通信技術を活用した測量、業務管理、作業の省力化を促進する各機器の導入を支援した。

- ・ 栗駒高原森林組合（ドローン） 他16件



導入されたドローン



接着加工機

目標指標

<林業（木材）産出額（億円）>

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
【参考値】	【参考値】	【参考値】										【目標】
44	44	45	48	49	(R4.3)							56

主な関係事業

関連事業	事業費（千円）	担当課・班
林業成長産業化総合対策交付金事業（施設等導入）	220,855	林業振興課林業基盤整備班
林業スマート化就業環境向上支援事業	35,759	林業振興課林業基盤整備班

令和3年度の実績

■ 県内の素材生産量の増大と木材自給率の向上を図るため、高性能林業機械導入等の支援を行う。

(2) 素材生産を向上させる林内路網の整備

主な取組状況

1 取組内容

令和元年東日本台風で被災した林道施設の復旧に取り組むとともに、適正な森林施業と合理的な林業経営の推進等に資するため、地域において必要な林道について、市町村が実施する林道事業の助成及び県営林道の整備等を行う。

2 令和2年度の実績

(1) 令和元年東日本台風からの復旧

林道施設災害復旧事業により、復旧が必要な101路線219箇所のうち、83路線186箇所で工事に着手し、うち27路線46箇所(21%)で工事が完了した。

(2) 市町村及び県営林道の整備及び林道橋の点検・診断

- ・地方創生道整備推進交付金事業(青野～岳山線)
- ・農山漁村地域整備交付金事業(権現堂線 外5路線)

(3) 県営林道の維持・管理

「登米東和線」「上嘉太神線」について開設工事を実施するとともに、新たに開設する「七ツ森湖～泉ヶ岳線」の詳細設計を実施した。

また、「二口線」について、維持管理工事を行った。



県営林道「上嘉太神線」



林道施設災害復旧事業実施箇所

3 圏域ごとの主な取組

- ・大河原地方振興事務所
令和元年東日本台風からの復興推進 P47
- ・仙台地方振興事務所
林道「七ツ森湖～泉ヶ岳線」着手による地域活性化へ向けて P49

主な関係事業

関連事業	事業費(千円)	担当課・班
林道施設災害復旧事業 (令和元年東日本台風)	323,275	林業振興課林業基盤整備班
森林管理道整備事業	206,988	林業振興課林業基盤整備班

令和3年度の実績

- 令和元年東日本台風により被災した林道施設の早期復旧に取り組む。
- 適正な森林施業と合理的な林業経営の推進及び山村地域の活性化を目指し、市町が実施する林道事業の助成、県営2路線の林道整備を行う。

2 ICTを活用した木材需給システムの構築 【関連：重点プロジェクト1】

主な取組状況

1 取組内容

木材需給調整システムの開発・実証(川上側の森林資源の賦存量・丸太の出荷量等の情報を集積し、川下側に迅速かつ正確に情報を提供するため、素材を一元管理可能なシステムの開発)に対し支援する。

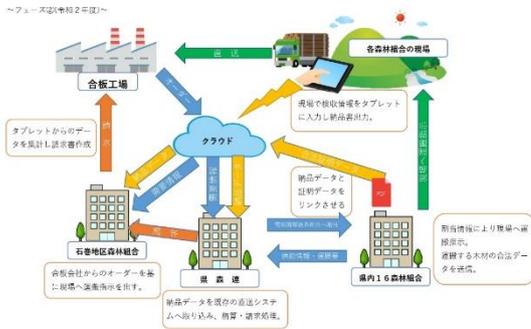
2 令和2年度の取組実績

木材需給調整システムの開発

森林資源の「賦存量」、山土場での「出荷量」及び「在庫量」を集積したデータベース(需給調整システム)の開発及び導入を支援した。

【概要】支援先：宮城県森林組合連合会

- ・ICTを活用した木材需給システムの開発支援
- ・需給管理システムの開発



＜需給調整システムの概要図＞



システム説明会

3 圏域ごとの主な取組

- ・東部地方振興事務所
 - 「スマート林業」の推進に向けた取組 P55
 - 合板用県産材の供給等に関する取組 P55
- ・東部地方振興事務所登米地域事務所
 - ICTサプライチェーンマネジメントシステムの推進 P57

目標指標

＜素材生産量（千m³）＞

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
【参考値】	【参考値】	【参考値】										【目標】
537	586	578	614	610	576							700

主な関係事業

関連事業	事業費（千円）	担当課・班
素材新流通システム構築事業	2,010	林業振興課みやぎ材流通推進班

令和3年度の主な取組

- 地域特性や需要等のニーズに対応した原木流通システムを県内全域に波及させるため、必要なシステム及び機器の導入を行う。
- 木材需要に対応した新たな流通システムを確立するため、需要量に応じて計画的に木材を出荷するための最新の取組を県内の事業者等に広く周知を図るため、現地検討会を開催する。

取組 2 県産木材の需要創出とシェア拡大

1 オールみやぎによるCLT等建築物の普及 【関連：重点プロジェクト1】

(1) CLT活用による新たな木材需要の創出

主な取組状況

1 取組内容

CLT活用による新たな木材需要の創出を図るため、宮城県CLT等普及推進協議会の取組と連携し、さまざまな場面での建築におけるCLT活用、ユニット化によるコスト低減等を支援する。

2 令和2年度の取組実績

(1) トータルコストの低減

CLT等県産木材製品のトータルコスト低減の提案を行う施設建設計画を支援した。

【概要】CLT製造及び流通コストの低コスト化の支援 1件

(2) 新製品の開発

新たな製品開発としてCLTを活用した新製品(家具)及び木造ユニットの開発事業を支援した。

【概要】CLT活用技術の創出支援 2件



CLTを活用したベンチ及び販促資料



ユニット開発ワークショップ



CLTを用いて建設中の
県林業技術総合センター
(完成予想図)

目標指標

< CLTを用いた建築物の建設棟数 (千㎡) >

H27 【参考値】	H28 【参考値】	H29 【参考値】	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9 【目標】
1	2	4	8	11	16							54

主な関係事業

関連事業	事業費 (千円)	担当課・班
CLT建築普及促進事業	57,726	林業振興課みやぎ材流通推進班

令和3年度の主な取組

- トータルコスト低減の提案を行う施設建設計画を支援する。(2件予定)
- CLT住宅プランの作成を支援する。(5プラン予定)
- CLT活用技術の創出を支援する。(1件予定)

(2) 技術者育成やC L T等の生産体制整備への支援

主な取組状況

1 取組内容

中層階等の非木造分野における木材利用の拡大を図るため、宮城県C L T等普及推進協議会が実施する木造建築に関する技術者育成やC L T等の生産体制の整備に向けた取組を支援する。

2 令和2年度の取組実績

(1) 技術者育成

宮城県C L T等普及推進協議会が行う、技術者育成を目指す技術講習会、工事見学会、シンポジウム開催等の取組を支援した。

【概要】

- ・ C L T利用先進地視察 5回 (延べ229人)
- ・ 勉強会・講習会 18回 (延べ399人)
- ・ 県産木材製品等P R 3回 (延べ36人)
- ・ 幹事会 (各種定例会議) 等 11回 (延べ336人)

(2) みやぎ木構造現場技術者の育成研修

宮城県C L T等普及推進協議会が行う、県内で建設中のC L T建築物 (本県補助事業の採択物件1件を含む。) を活用し実施された、みやぎ木構造現場技術者の育成研修を支援した。

【概要】

- ・ みやぎ木構造現場技術者育成研修 5人



木造建築に関する技術者育成研修

目標指標

< 木材・木製品出荷額 (億円) >

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
【参考値】	【参考値】	【参考値】										【目標】
763	792	854	849	847	(R4.9)							980

主な関係事業

関連事業	事業費 (千円)	担当課・班
新たな木材利用チャレンジ事業	18,120	林業振興課みやぎ材流通推進班

令和3年度 of 主な取組

- 非住宅建築物等に対応した木質建材 (超厚合板・D L T) の開発を支援する。
- C L T建築物の設計・施工等技術者の育成を支援する。
- C L T普及促進に向けてP R資料の作成等を支援する。

2 木質バイオマス利用による地域循環の促進 【関連：重点プロジェクト1】

主な取組状況

1 取組内容

木質バイオマス利用の促進を図るため、ボイラーを導入している県内観光施設・園芸施設等に対して、地域森林由来の未利用材の燃料購入を支援する。

2 令和2年度の取組実績

未利用バイオマス安定調達支援

県内地域において、木質バイオマス発電施設及び熱利用施設計2基が新たに稼働し、県内全体で、2,123 m³/年の木質バイオマスが県内施設へ供給された。

【概要】

- ・地域未利用材由来のバイオマス安定調達支援 2,123 m³
 - 宮戸地区復興再生多目的施設（あおみな）
 - パプリカ栽培施設（(株)デ・リーフデ北上）
 - バイオマス発電施設（気仙沼地域エネルギー開発(株)）



小型木質バイオマス熱電併給施設



未利用木質バイオマス
搬出促進に係る情報交換

目標指標

<木質バイオマス活用施設導入数（累計）>

H27 【参考値】	H28 【参考値】	H29 【参考値】	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9 【目標】
39	41	55	61	64	64							60

主な関係事業

関連事業	事業費（千円）	担当課・班
木質バイオマス広域利用モデル形成事業	4,345	林業振興課みやぎ材流通推進班

令和3年度の主な取組

- 地域完結型の木質バイオマスを推進するため、関係者間のネットワーク形成支援を行う。
- 森林由来の未利用木質バイオマスの搬出促進に対する取組を支援する。（針葉樹 4,500 m³程度
広葉樹 2,400 m³程度）

3 公共施設等の木造・木質化の促進 【関連：重点プロジェクト1】

主な取組状況

1 取組内容

被災者の住宅再建など、県産材利用住宅への支援を通じて、県産木材の利用拡大を図るとともに、炭素の長期的な固定による地球温暖化防止対策を推進する。

木材の利用の促進を図るため、公共性の高い民間施設等における木質化や、県産材を使った木造住宅の建築に対して支援する。

2 令和2年度の取組実績

(1) 県産材利用住宅建築への支援

主要構造材に宮城県産材を60%以上使用し、かつ優良品みやぎ材を40%以上使用する木造住宅に対し補助を行った。

【概要】

- ・補助交付決定数 524件
- ・県産材使用量 8,484.2m³
※見込み含む



県産木材を使用した住宅

(2) 内外装の木質化の支援

県産木材の活用促進と、木の良さの普及啓発に向け、内外装の木質化及び木製品の配備に対し支援した。

【概要】

- ・内外装の木質化及び木製品の配備施設 2件



県産木材を使用した住宅の内装

(3) 新型コロナウイルス感染症対策支援

新しい生活様式に対応するために飲食店等が行う県産木製品を活用した改装・改築経費への支援、県施設への飛沫防止パネル設置などの各種施策を実施した。



飛沫防止パネル設置



県産材を利用した建築物内覧



内装木質化及び木製品の配備

主な関係事業

関連事業	事業費(千円)	担当課・班
県産材利用エコ住宅普及促進事業	262,567	林業振興課みやぎ材流通推進班
木の香るおもてなし普及促進事業	2,500	林業振興課みやぎ材流通推進班
Wood・もっと・みやぎ県産材需要創出事業	73,583	林業振興課みやぎ材流通推進班

令和3年度の主な取組

■ 県産材を一定量以上使用した新築一戸建て木造住宅に対し支援する。(400件予定)

さらに、県産材を一定量以上使用した内装・木製品の配備等に係る経費についても上乗せで支援する。(120件予定)

■ 県産材を一定量以上使用した住宅のリフォームに対し支援する。(90件予定)

取組3 持続可能な林業経営の推進

1 森林施業の集約化に向けた森林経営計画策定の促進 【関連：重点プロジェクト2】

主な取組状況

1 取組内容

森林経営計画の策定率向上に向け、森林所有者や林業事業者等による施業・経営の集約化を図るとともに、森林経営管理制度の運用に必要な林地台帳の整備について市町村を支援する。

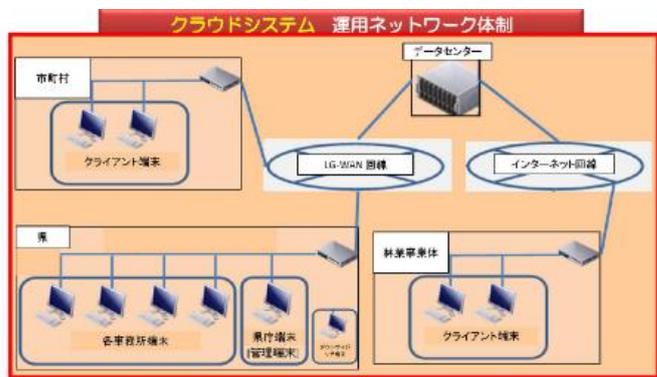
2 令和2年度の取組実績

森林経営計画策定の支援

森林施業の集約化に向け、林地台帳や空中写真を用いた森林情報の適正化や市町村等との情報共有の強化を図るためのクラウドシステムの導入を実施した。

【概要】

- ・森林情報の適正化 15市町（令和3年度に繰越で実施中）
- ・県内森林経営計画策定率 26%



クラウドシステム運用ネットワーク体制

※クラウドシステムの運用により、県が所有する森林情報（森林資源データベース及び地図情報データ等）をクラウド化し、市町村等とリアルタイムで共有するとともに、市町村等が登録する経営計画等のデータについても、クラウド上で共有が図られる。



森林経営計画作成に向けた打合せ



森林経営計画住民説明会

目標指標

< 森林経営計画の策定率 (%) >

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
【参考値】	【参考値】	【参考値】										【目標】
28	29	27	28	27	26							60

主な関係事業

関連事業	事業費（千円）	担当課・班
森林整備活動支援交付金事業	2,875	林業振興課地域林業振興班
森林情報活用促進事業	35,632	林業振興課地域林業振興班
森林経営管理市町村支援事業	19,415	林業振興課地域林業振興班
地域森林計画編成等事業	1,980	林業振興課地域林業振興班

令和3年度の主な取組

- 森林施業の集約化に向け、森林情報の適正化と地域森林計画の変更を行う。
- 森林経営計画策定の支援を行い、森林経営計画の策定率向上を図る。
 - ・地域森林計画の変更及び調査とりまとめ 1式
 - ・森林経営計画策定に係る活動支援（森林経営計画作成促進、森林境界の確認等）1町

2 経営受託等による森林管理の促進 【関連：重点プロジェクト2】

主な取組状況

1 取組内容

森林経営管理制度を円滑に推進するため、林業公社に設置した市町村森林経営管理サポートセンターと県が連携して、森林所有者の意向調査等に係る市町村の支援を行う。

2 令和2年度の取組実績

(1) 森林経営管理制度推進支援

森林経営管理制度推進会議及び圏域推進会議の開催、県独自のガイドラインの拡充や市町村への情報提供等を行い、市町村における本制度の活用促進を図った。

(2) 宮城県市町村森林経営管理サポートセンターの設置を通じた支援

県の森林環境譲与税を活用して(一社)宮城県林業公社に設置した「宮城県市町村森林経営管理サポートセンター」により、県林業普及指導員と連携して市町村の実務を手厚く支援するとともに、市町村のマンパワー不足を軽減するために、「地域林政アドバイザー」を養成した。

【概要】

- ・サポートセンターによる市町村向け実務研修実施回数 6回
- ・林政アドバイザー活用市町村数 6市町村
- ・意向調査着手済市町村 16市町村



【森林経営管理制度の概要】



地域林政アドバイザー実務研修

3 圏域ごとの主な取組

- ・大河原地方振興事務所
森林施業の集約化に向けた森林経営計画の策定及び森林経営管理制度の推進・・・ P47
- ・北部地方振興事務所
森林経営管理制度推進に向けた市町支援・・・・・・・・・・・・・・・・ P51
- ・北部地方振興事務所栗原地域事務所
栗原市における森林経営管理制度の取組・・・・・・・・・・・・・・・・ P53
- ・気仙沼地方振興事務所
森林経営管理制度の円滑な推進に向けて・・・・・・・・・・・・・・・・ P59

主な関係事業

関連事業	事業費(千円)	担当課・班
森林経営管理市町支援事業	28,078	林業振興課地域林業振興班

令和3年度の主な取組

- 森林情報の精度向上を図るため、森林情報の適正化と地域森林計画の策定を行う。
- 市町村による森林経営管理の支援を行い、森林整備の実施に向けた取組を促進する。
 - ・市町村森林管理サポート事業 1式
 - ・地籍図に合わせた森林計画図の修正 1式

<政策Ⅱ 森林の持つ多面的機能のさらなる発揮>

取組 4 資源の循環利用を通じた森林の整備

1 低コストな間伐の推進による森林の整備 【関連：重点プロジェクト2】

主な取組状況

1 取組内容

森林の二酸化炭素吸収機能や水源涵養機能などの公益的機能を高度に発揮させるとともに、旺盛な木材需要に応じていくため、間伐や路網整備を支援する。

2 令和2年度の取組実績

事業地の集約化や効率的な路網整備、高性能林業機械の活用等による低コスト間伐の取組を支援した。

【概要】

- ・ 森林作業道整備 151,569 m
- ・ 間伐面積 1,410 ha *

※数値は補助事業による実績であり、県全体の実績は集計中



高性能林業機械による間伐



間伐材の搬出



森林作業道の開設（ドローンによる空撮）

目標指標

<間伐面積 (ha) >

H27 【参考値】	H28 【参考値】	H29 【参考値】	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9 【目標】
2,714	3,661	3,162	3,555	3,303	(R3.9)							5,600

※補助事業によるもののほか、治山事業や自力等による実績を含む。

主な関係事業

関連事業	事業費 (千円)	担当課・班
温暖化防止間伐推進事業	167,218	森林整備課森林育成班
森林育成事業	444,808	森林整備課森林育成班
林業・木材産業成長産業化促進対策事業 及び 合板・製材・集成材国際競争力強化対策事業	284,590	森林整備課森林育成班

令和3年度 of 主な取組

■森林の持つ多面的機能の発揮に向け、間伐や路網整備への支援を行いながら、低コスト間伐を推進する。

- ・ 森林作業道整備 132,780 m
- ・ 間伐 1,230 ha

2 主伐・再造林の推進による森林資源の再造成 【関連：重点プロジェクト2】

主な取組状況

1 取組内容

人工林伐採後の再造林を推進するとともに、「伐採と造林の一貫作業システム」の普及等による造林コストの低減化に取り組む。

2 令和2年度の実績

(1) 再造林の推進

再造林を推進するため、造林経費に対する補助を行った。

- ・再造林面積 130ha*（うち、一貫作業システムによる再造林 26ha）

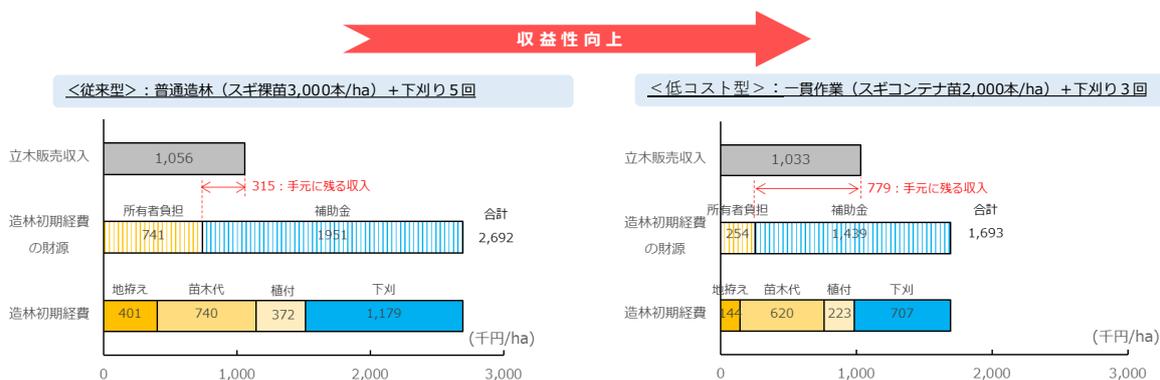
※数値は補助事業による実績（拡大造林等は含まない）であり、県全体の実施面積は集計中

(2) 少花粉スギの増産

林業技術総合センターに半閉鎖系採種園を2棟設置し、少花粉スギを増産するための基盤整備を行った。

(3) 林業の省力化を推進するための森林整備補助事業体系の見直し

林業の省力化・低コスト化により再造林を推進するため、先行事例や既往の研究成果を踏まえて現状を分析し、一貫作業システムによる低密度植栽の補助率引き上げや下刈回数原則3回に転換するなど、補助事業体系の見直しを行った。



3 圏域ごとの主な取組

- ・ 東部地方振興事務所
再造林の促進に向けた取組 P56
- ・ 東部地方振興事務所登米地域事務所
一貫作業システムを活用した再造林の推進 P57
- ・ 林業技術総合センター
効果的な再造林に貢献する調査・事業の推進 P61

目標指標

< 植栽面積 (ha) >

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
【参考値】	【参考値】	【参考値】										【目標】
216	238	301	265	315	(R3.9)							400
107	103	129	134	156	130							—

(目標指標) 上段 : 拡大造林や治山事業等による造林を含む全ての植栽面積

(参考値) 下段 : 補助事業による再造林のみの面積

主な関係事業

関連事業	事業費 (千円)	担当課・班
温暖化防止森林更新推進事業	100,569	森林整備課森林育成班
森林育成事業 (再掲)	444,808	森林整備課森林育成班

令和3年度の主な取組

- 森林資源を持続的に利用するため、再造林の推進を図る（再造林 約260 ha）
- 提案型によるモデル的な再造林を支援し、森林整備の省力化・低コスト化を普及する。
 - ・ 低コストモデル再造林 3 ha×4 件(上記260 ha の内数)
- 花粉症対策に資する苗木の増産に係る施設整備を行う。
 - ・ ミストハウス2棟, 特定母樹ミニチュア採種園2箇所 ほか

取組 5 多様性に富む健全な森林づくりの推進

1 NPOや企業など多様な主体との連携の促進

(1) 多様な主体による県民参加の森林づくりの推進

主な取組状況

1 事業内容

県民が自主的かつ主体的に取り組む植林活動や森林整備などの森林づくり活動等への支援を通じて、多様な主体による県民参加の森林づくりを推進する。

2 令和2年度の実績

NPO法人等が、地域住民、森林所有者等とともに集落周辺の森林の手入れなど、森林環境教育や森林施業技術向上のための研修開催等の取組を支援した。

【概要】

- ・ 支援団体 23 団体
- ・ 活動内容 里山保全活動 61.5ha, 侵入竹除去・竹林整備 10.8ha

構成員	活動組織の構成員は、地域住民、森林所有者等地域の実情に応じた方(3名以上)で構成してください。 地域の自治会、NPO法人等が実施、又は1構成員となることも可能です。 なお、活動組織としての規約の作成や区分経理が必要となります。
対象森林	本交付金の対象となる森林は、活動を行う時点において、森林経営計画が策定されていない0.1ha以上の森林です。
活動区域	地域住民、森林所有者等による里山林の保全、利用を支援することが本事業の目的であり、原則として活動組織の事務所は、対象森林と同一都道府県内にある必要があります。
活動計画書	活動組織名、所在地、取組の背景及び概要、3年間の活動計画(原則として過去に策定した活動計画書に位置付けられていない森林とする。)、年度別の取組内容、計画図、委託内容等を記載した計画書を作成する必要があります。(計画書の作成は交付金の支援対象とはなりません。)



里山林の保全活動

<みんなの森林づくりプロジェクト推進事業支援団体概要>

3 圏域ごとの主な取組

- ・ 気仙沼地方振興事務所
観光資源としても重要な松林の後継樹を育てる P59

主な関係事業

関連事業	事業費(千円)	担当課・班
みんなの森林づくりプロジェクト推進事業	1,871	林業振興課林業基盤整備班

令和3年度の主な取組

■ 地域住民や任意団体などが、自主的かつ主体的に取り組む植林や森林整備などの森林づくり活動、環境緑化活動などを支援する。
(支援団体：29 団体、里山保全活動 65.6ha, 侵入竹除去・竹林整備 15.0ha を予定)

(2) 企業や団体の森林づくり活動へのフィールドの提供

主な取組状況

1 取組内容

社会貢献活動の一環として森づくり活動等を行う場所を求めている企業や団体に対し、森づくり協定の締結により、活動のフィールドとして県有林を提供する。また、希望があれば命名権を有償で譲渡する。

2 令和2年度の取組実績

3企業・団体と協定を更新し、13.65haの県有林を活動場所として提供した。うち、1団体に命名権を譲渡した。

また、県庁1階で森づくりパネル展を開催し、企業等による森づくり活動を広く紹介することにより、取組の普及推進を図った。

【概要】

令和3年3月31日現在

- ・森づくり協定数 13協定
- ・命名権譲渡数 11件
- ・森づくり面積 54.96ha



命名権による森づくり活動フィールド



森づくりパネル展の開催状況

主な関係事業

関連事業	事業費(千円)	担当課・班
わたしたちの森づくり事業	—	森林整備課県有林班

令和3年度的主要取組

■協定更新予定3件のほか、新規の協定締結に向け、県ホームページでの広報や森づくりパネル展の開催、個別の相談対応等を通じたPRを実施する。

(更新予定：3団体、12.34ha)

2 松くい虫被害対策の推進と松林景観の保全

主な取組状況

1 取組内容

松くい虫被害から特別名勝「松島」地域等の重要な松林を守るため、特別防除、地上散布、伐倒駆除等の各種防除対策を推進する。また、抵抗性マツの植栽やドローンを活用した被害地調査等により、被害跡地の再生に取り組む。

2 令和2年度の取組実績

【概要】

・松くい虫被害木の伐倒駆除	7, 534 m ³
・特別防除（薬剤空中散布）	392 ha
・薬剤地上散布	108 ha
・薬剤樹幹注入	1, 666 本
・抵抗性マツ植栽	2, 300 本



抵抗性マツ苗木



森林病虫害防除薬剤地上散布



被害地調査に用いたドローン

3. 圏域ごとの主な取組

- ・仙台地方振興事務所
松くい虫被害対策の推進と松林景観保全に向けた市町村との連携 P49
- ・東部地方振興事務所
松くい虫被害対策及びニホンジカ被害対策に向けた取組 P56

目標指標

<松くい虫被害による枯損木量 (m³) >

H27 【参考値】	H28 【参考値】	H29 【参考値】	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9 【目標】
16, 523	13, 700	14, 935	13, 215	9, 612	10, 151							10, 000

主な関係事業

関連事業	事業費 (千円)	担当課・班
森林病虫害等防除事業	161, 152	森林整備課森林育成班
特別名勝「松島」松林景観保全対策事業	19, 182	森林整備課森林育成班
森林育成事業 (衛生伐)	166, 220	森林整備課森林育成班

令和3年度の主な取組

■松くい虫防除対策の推進、抵抗性マツの植栽等による被害跡地の再生を継続するほか、ドローンを活用した播種など新技術の導入実証についても併せて取り組む。

・特別防除（薬剤空中散布）	388 ha
・地上散布	103 ha
・樹幹注入	1, 357 本
・抵抗性マツ植栽	2, 500 本

3 森林被害対策の推進

主な取組状況

1 取組内容

防鹿柵の設置等による食害防止対策，ニホンジカの捕獲，狩猟者の育成確保の推進を行う。
また，ナラ枯れの拡大を防止するため，被害木の駆除や伐採による広葉樹林の健全化を図る。

2 令和2年度の取組実績

(1) ニホンジカ被害対策

東部地方振興事務所管内市町，宮城県猟友会，宮城県北部森林管理署等の関係機関で構成される「牡鹿半島ニホンジカ対策推進協議会」と連携して，「ニホンジカ被害対策ロードマップ」に基づき，被害防止対策の強化・推進を行った。

【概要】ロードマップに基づく取組

令和元年次より10年後に生息数を7,289頭→1,600頭程度を目指す

取組の方向性	主な対策の内容
①住民理解・情報共有・連携の促進	被害対策マニュアルの作成，研修会・ワークショップの実施 など
②生息状況の把握と被害対策の実施	生息調査の強化，広域防鹿柵の設置 など
③狩猟強化のための整備	森林整備に伴う作業道の整備，農地近隣のわな活用による捕獲強化 など
④鳥獣対策の人材育成	集落リーダーの育成，新規狩猟者の確保 など
⑤食肉流通対策の推進	ジビエの普及推進，ペットフードへの活用検討 など

<ロードマップに基づく取組概要>

(2) ナラ枯被害対策

みやぎ環境税事業を活用して被害木の駆除を進め，ナラ枯れの被害拡大を防止し，里山林の健全化を図った。

【概要】

- 伐倒駆除 731m³
- 立木くん蒸 484本



ナラ枯れ（伐倒くん蒸）

3 圏域ごとの主な取組

- ・北部地方振興事務所
ナラ枯れ被害調査の研修会開催 P51
- ・東部地方振興事務所
松くい虫被害対策及びニホンジカ被害対策に向けた取組 P56
- ・林業技術総合センター
獣害を受けた森林の復元や捕獲対策の検証と実証 P61

主な関係事業

関連事業	事業費（千円）	担当課・班
里山健全化事業（ナラ枯れ対策）	19,680	森林整備課森林育成班

令和3年度の主な取組

- ニホンジカの個体数管理に向け効率的な捕獲方法等の検証を進める。
- ナラ林の保全・再生のため，大径化・高齢化したナラ林の伐採・更新・利用を推進する。

1 重要な森林の保安林指定と適切な管理・整備の推進

主な取組状況

1 取組内容
 災害発生危険度の高い森林や防災上必要な森林などを計画的に保安林として指定するとともに、維持管理に必要な森林整備を進める。

2 令和2年度取組実績
 (1) 保安林の指定
 水源の涵養や山地災害の防止など県民の暮らしを守るため、特に重要な森林約691.5haを保安林として指定した。

【概要】

・保安林指定面積	合計691.5ha
●水源涵養保安林	592.4ha
●土砂流出防備保安林	93.0ha
●飛砂防備保安林	0.5ha
●潮害防備保安林	5.6ha

(2) 保安林本数調整伐
 保安林の機能を維持するため適切な整備を行った。



保安林指定地（登米市）



本数調整伐採実施後の保安林（大和町）

3 圏域ごとの主な取組
 ・北部地方振興事務所栗原地域事務所
 治山事業の着実な実施 P53

目標指標

<保安林の指定面積 (ha) >

H27 【参考値】	H28 【参考値】	H29 【参考値】	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9 【目標】
66,813	67,203	67,495	67,779	68,274	68,966							70,872

主な関係事業

関連事業	事業費 (千円)	担当課・班
保安林整備事業	30,655	森林整備課治山班
保安林受託管理事業	2,164	森林整備課保安林班

令和3年度の主な取組

- 水源涵養等森林の公益的機能を発揮する保安林を指定する。
- 保安林機能回復・向上を図るため、下刈、本数調整伐等の保育事業を実施する。
 (保安林本数調整伐85.98ha 予定)

2 山地災害危険地区の計画的な整備の推進

主な取組状況

1 取組内容

令和元年東日本台風で被災した森林の復旧に取り組むとともに、山地災害を未然に防止するため、治山対策を計画的に推進する。

また、治山施設の長寿命化を図り、保安林機能を維持するため、治山施設の点検等を実施する。

2 令和2年度の実績

(1) 令和元年東日本台風からの復旧

早期に復旧が必要な21箇所について、入札不調対策を講じながらすべての工事に着手し、2箇所が完成した。また、その他復旧を計画した53箇所のうち49箇所に着手した。

【概要】

- ・災害関連緊急治山事業 着工箇所数 21箇所



治山ダム（大河原管内）

(2) 治山事業の実施

荒廃した山腹や溪流などの山地災害危険地区において、治山事業を実施した。

【概要】

- ・治山事業の実施箇所数 56箇所

3 圏域ごとの主な取組

- ・大河原地方振興事務所

令和元年東日本台風被害からの復興推進 P47

- ・北部地方振興事務所

令和元年東日本台風による災害関連緊急治山工事 P52

目標指標

< 山地災害危険地区（Aランク）の治山工事着手率（%） >

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
【参考値】	【参考値】	【参考値】										【目標】
56	56	45	47	48	49							65

主な関係事業

関連事業	事業費（千円）	担当課・班
治山事業	922,959	森林整備課治山班

令和3年度の実績

■引き続き、令和元年東日本台風で被災した森林の復旧に取り組むとともに、山地災害を未然に防止するため、治山対策を計画的に推進する。

（令和元年東日本台風に係る治山事業：大郷町 板谷東山地区ほか。5箇所予定）

（復旧治山等：登米市津山町 かや沢地区ほか。20箇所予定）

3 無秩序な開発行為の防止に向けた適切な指導と監視体制の構築

主な取組状況

1 取組内容

森林法に基づく林地開発許可制度の適切な実施を指導するとともに、適時開発現場の防災パトロールを行う。

2 令和2年度の取組実績

(1) 許可・協議審査業務

森林法に基づく林地開発許可申請（協議）に対し、「災害の防止」「水害の防止」「水源の確保」「環境の保全」の4つの原則を踏まえた、適正な審査・指導・検査を行った。

【概要】

・林地開発許可・協議	15件（	187ha）
・林地開発許可箇所における中間検査	267件（3,	146ha）
・林地開発許可箇所における完了検査	20件（	269ha）

(2) 防災パトロール

林地開発許可・協議現場の防災パトロールを適時行い、開発業務の適切な実施を指導した。

(3) 防災ヘリコプターによる空中探査

新型コロナウイルス感染拡大に伴い中止となった、防災ヘリコプター「みやぎ」による空中探査に代えて、防災パトロールの強化を図った。



林地開発現場の防災パトロール

主な関係事業

関連事業	事業費（千円）	担当課・班
林地開発許可事業	378	自然保護課みどり保全班

令和3年度の主な取組

- 森林法に規定する「災害の防止」「水害の防止」「水源の確保」「環境の保全」の4つの原則を踏まえ、許可申請件数の増加や大規模化する申請に対し、適正な審査・指導を行う。
- 開発現場の防災パトロールを強化するとともに、違反行為の未然防止と早期発見に向け新型コロナウイルス感染症の影響を勘案しながら防災ヘリコプターによる空中探査を実施する。

<政策Ⅲ 森林，林業・木材産業を支える地域や人材の育成>

取組 7 持続的成長をけん引する経営体や担い手の育成

1 森林組合の経営体制の強化 【関連：重点プロジェクト3】

主な取組状況

1 取組内容

森林組合経営の安定化に向けて、組織体制の強化及び財務基盤の充実に向けた支援を行うほか、森林組合経営ビジョン・中期経営計画の着実な実行に向けたフォローアップや中小企業診断士による経営診断等を実施しながら、組織体制の強化を目指す。

2 令和2年度の取組実績

(1) 経営診断

役職員からのヒアリング（2日間）及び事前に提出した資料（組織・財務関係）を基に中小企業診断士による経営診断を実施し、その結果（財務・組織分析，事業戦略提案等）について、役職員等を対象に報告会を行った。

【概要】

- ・経営診断実施組合数 2組合
- ・出席者数（役職員等） 47人（延べ人数）

(2) 経営診断フォローアップ

前年度経営診断を受けた組合を対象に、診断結果の反映状況の確認を行うとともにニーズ調査を実施した。

【概要】

- ・フォローアップ実施組合数 2組合

(3) 個別支援

令和元年度に引き続き、関係機関と連携し、組合が抱える個別の経営課題解決に向けた取組を支援するため、隣県森林組合の参事を講師に、施業集約化のノウハウを習得する検討会を実施した。

【概要】

- ・検討会実施組合数 1組合（1回）



施業集約化の現地指導

主な関係事業

関連事業	事業費（千円）	担当課・班
森林組合指導事業	912	水産林政総務課団体指導検査班

令和3年度の主な取組

- 国の「森林組合等の総合的な監督指針」及び「宮城県森林組合指導方針」等に基づき適正な組合運営の実現に向けて必要な指導・助言を行う。
- 自立的経営を実現できる森林組合の育成を図るため、各組合における「経営ビジョン・中期経営計画」の達成状況の確認や実効性確保のための支援・指導を行う。
- 組織体制の強化を図るため、宮城県森林組合連合会や農林中央金庫仙台支店、各地方振興事務所等関係機関と連携しながら、中小企業診断士による経営診断及び個別指導を実施する。

2 新規林業就業者の定着と技能習得の計画的なサポート 【関連:重点プロジェクト3】

(1) みやぎ森林・林業未来創造機構の取組について

主な取組状況

1 取組内容

林業担い手の確保・育成に係る研修や、就業環境の改善に向けた検討会等を総合的に企画運営する。

運営は林業・木材産業団体、行政、NPO等の地域団体などが会員の「みやぎ森林・林業未来創造機構（事務局：林業技術総合センター）」が主体となっていく。

2 令和2年度の取組実績

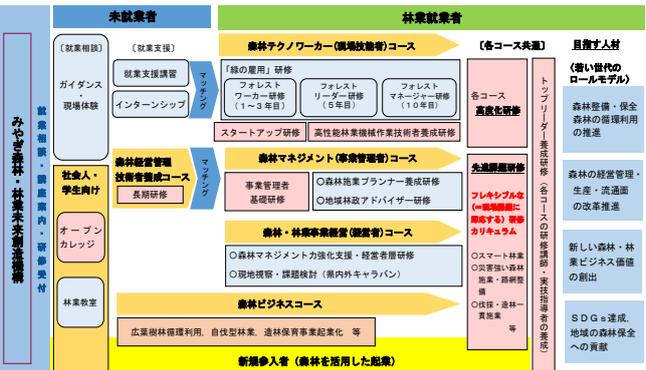
(1) みやぎ森林・林業未来創造機構の設立
設立：令和2年12月15日 会員43者（設立時）

(2) 事業構想の策定

- ・研修事業部会（委員10名）で「みやぎ森林・林業未来創造カレッジ」の研修体系（対象者と研修コース設定）を検討し事業構想としてまとめた。
- ・経営強化就業環境部会（委員11名）で「就業環境向上を進める4つのプロジェクト」を事業構想としてまとめた。



設立総会



取組実施行程

主な関係事業

関連事業	事業費（千円）	担当課・班
みやぎ森林・林業未来創造カレッジ 設立・運営事業	7,753	林業振興課林業基盤整備班

令和3年度の主な取組
<p>■みやぎ森林・林業未来創造カレッジの開講準備，運営を行う。</p> <p>オープンカレッジの開催（7月）</p> <p>部分開講・キックオフイベント（10～11月予定）</p> <p>■経営強化就業環境の取組</p> <p>就業改善のに向けて取り組む「経営強化モデル」の検討を行う。</p>

(2) UIJターン・高校生等の多様な担い手の確保に向けた取組

主な取組状況

<p>1 取組内容 UIJターン・高校生等の多様な担い手の確保に向けた研修会開催等の取組を実施する。</p>	
<p>2 令和2年度の取組実績</p> <p>(1) 高校生向け就業ガイダンスの開催 県内の高校生に林業事業体の現場紹介や就業方法等のガイダンスを行った。 【概要】参加者7名</p> <p>(2) 山仕事ガイダンスの開催 林業就業に関心のある人に対する林業基礎知識等の講義及び就業相談等を実施した。 【概要】参加者20名</p> <p>(3) インターンシップ開催の支援 事業体が実施するインターンシップの開催経費等を助成した。 【概要】実施団体2団体, 参加者12名</p> <p>(4) 新規就業等機械整備の支援 新規就業者を対象にチェーンソー,刈払い機等の機械購入費を助成した。 【概要】実施団体6団体,</p> <p>(5) 安全講習・技能講習等助成支援 新規就業者を対象に安全講習, 技能講習等の実施に係る受講費を助成した。 【概要】受講者 35人(延べ人数)</p>	 <p>山仕事ガイダンス</p>
<p>3 圏域ごとの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大河原地方振興事務所 林業技術員の育成及び林業後継者や林業事業体の育成 P48 ・東部地方振興事務所登米地域事務所 登米市小学校への林業体験の実施 P58 ・林業技術総合センター 林業就業者の確保・育成に向けた効果的な研修の実施 P61 	

目標指標

<新規就業者数(人)>

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
【参考値】	【参考値】	【参考値】										【目標】
67	54	48	48	48	42							100

主な関係事業

関連事業	事業費(千円)	担当課・班
みやぎの里山ビジネス推進事業	3,803	林業振興課林業基盤整備班

<p>令和3年度の主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ■林業・森林整備の担い手の定着や多様な担い手の確保・育成を図る。 ■各林業事業体等で実施する若手就業希望者を対象としたインターン開催について支援する。

3 森林施業プランナーの育成強化 【関連：重点プロジェクト3】

主な取組状況

<p>1 取組内容</p> <p>高度な技能を有し集約施業を実践する地域リーダーとなる人材の育成や就労環境の改善に取り組むとともに、森林整備を担う林業事業体の経営改善を支援し、森林づくりの担い手確保を推進する。</p> <p>2 令和2年度の実績</p> <p>(1) 就労環境改善事業（森林整備担い手対策事業） 認定事業体を対象に安全装具（防護服等）の購入費を助成した。 【概要】16事業体</p> <p>(2) 森林マネジメント力強化支援事業（森林経営管理市町村支援事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経営者層研修 生産性の向上に向けた組織改革を行う経営者を育成するための研修を実施した。 参加者：22団体，22名 ・森林施業プランナー実践研修 生産性の向上や事業量の安定確保ができる人材を育成するための研修を実施した。 参加者：7団体，14名 <p>(3) 森林施業プランナー養成研修（森林経営管理市町村支援事業） 森林施業プランナーの養成研修及び提案型集約化施業の実践研修等を行った。 【概要】研修受講者：6名</p> <p>(4) 森林作業道作設オペレーター育成研修（森林経営管理市町村支援事業） 認定事業主の就業者を対象に、丈夫で壊れにくい森林作業道作設技術の習得に向け、森林施業プランナーと連携した研修を行った。 【概要】実施日：5日間，参加者：延べ18名</p> <p>(5) 意欲と能力のある林業経営者29団体の選定</p> <p>3 圏域ごとの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北部地方振興事務所 林業技術者の育成支援について P52 ・気仙沼地方振興事務所 意欲ある多様な人材育成に向けて P60 	 <p>森林施業プランナー 実践研修</p>
--	---

目標指標

< 森林施業プランナー雇用林業事業体数（累計） >

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
【参考値】	【参考値】	【参考値】										【目標】
7	7	15	16	18	19							28

主な関係事業

関連事業	事業費（千円）	担当課・班
森林整備担い手対策事業	9,184	林業振興課林業基盤整備班

令和3年度の主な取組
■森林整備を担う林業事業体の経営改善を支援し、林業労働力の育成確保を図るほか、高度な技能を有する人材の育成や就労環境改善を行う。

取組 8 地域・産業間の連携による地域産業の育成

1 特用林産物の収益力向上に対する支援 【関連：重点プロジェクト4】

主な取組状況

1 取組内容

特用林産物を活用した地域産業の振興に向けて、しいたけ、きくらげの販路拡大支援や孟宗竹・真竹のメンマへの加工指導などに取り組む。

2 令和2年度の実績

(1) 特用林産物による地域産業の育成に向けて、孟宗竹・真竹のメンマへの加工など、特用林産物の生産・販売に向けた支援を行うとともに、県オリジナルのきのこである「ハタケシメジ (LD2号)」の安定生産、安定供給のための技術開発を行った。



県オリジナルきのこ
「ハタケシメジ」

(2) しいたけ販売会等による支援を行った。

【概要】

- ・生産技術向上・販売に向けた支援 19回
- ・研究開発・技術実証 3件



地元のタケノコを加工したメンマ



しいたけ販売会の開催

目標指標

< 林業（特用林産物）算出額（億円） >

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
【参考値】	【参考値】	【参考値】										【目標】
36	37	35	36	37	(R4.3)							46

主な関係事業

関連事業	事業費（千円）	担当課・班
特用林産産地振興推進事業	3,336	林業振興課地域林業振興班
特用林産物放射性物質対策事業	80,902	林業振興課地域林業振興班

令和3年度の実績

- 特用林産物の販路拡大に向け、生産技術向上や技術実証等の支援を行う。
- 県内産原木の利用再開に向け、原木林の放射性物質濃度を継続調査し、震災以降低迷した県内きのこ生産の復興を目指す。
- 木くずや穀類の精製過程でできる廃棄物等を活用した「菌床」を使ったきのこの生産拡大を図り、合わせて、一次産業由来の廃棄物のリサイクルを推進する。

2 森林資源フル活用による交流人口の拡大促進 【関連：重点プロジェクト3・4】

主な取組状況

1 取組内容

県内でこれまで利用されていない新たな資源として、森林内に自生する「苔」に着目し、地域住民や団体などと連携しながら栽培技術の定着やPRを行い、苔の産地化に取り組む。

2 令和2年度の取組実績

(1) 「苔」の栽培技術の支援の実施

栗駒高原森林組合と文字苔っこの会において、苔圃場を新設し、合計4種約2000箱の苔栽培を開始し生長量等の調査を行った。

【概要】

- ・苔の種類：ウマスギゴケ・ハイゴケ・
エゾスナゴケ・フロウソウ
- ・栽培箱数：栗駒高原森林組合 1687箱
文字苔っこの会 355箱

(2) 苔テラリウム・苔玉等の商品製作に関する支援

生産した苔の利用法等を検討するため、苔生産者を対象に苔商品の製作講習会を実施。また、造園業関係の苔庭での利用促進に関する検討会を実施した。

【概要】

- ・苔商品化技術講習会（参加者：約50名）
- ・造園管理に係る技術検討会（参加者：23名）

(3) 「くりはらの苔」PR拡大

県庁ロビー販売会や伊豆沼はすまつり会場での苔玉等の販売を通じて「くりはらの苔」をPRするとともに、「くりはらの苔ふれあいフェア」で苔テラリウム製作体験会などを開催した。また、栗原市民を対象とした地元ガイド養成講座を開催し、くりはらの苔をPRする人材の育成にも取り組んだ。

【概要】

- ・くりはらの苔ふれあいフェアを開催
- ・地元ガイド養成講座（参加者：約10名）

3 圏域ごとの主な取組

- ・北部地方振興事務所栗原地域事務所
苔産地化の取組 P54



苔圃場の整備状況



苔圃場における生育調査状況



苔商品化技術講習会



造園管理に係る技術検討会

令和3年度の主な取組

- 「苔」栽培管理技術の定着と商品化に向けた講習会を開催し、生産者の拡大を図る。
- 「苔」の産地化を目指し、圃場整備モデル実証や造園業界と管理技術検討等を行い、未利用農地の再活用策や生産経費や産地化有利種を検討する。
- 第2回全国苔フェスティバル in 栗原（令和3年10月23日（土）開催予定）や栗駒山麓に自生する苔の観察会を開催し、「くりはらの苔」の魅力をPRし、消費者・利用者等の関係人口の拡大を図る。

取組9 新たな森林、林業・木材産業関連技術の開発・改良

1 ニーズの的確な把握や関係機関との連携等による効率的な試験研究の実施

【関連：重点プロジェクト1・2・4・5】

主な取組状況

1 取組内容

新たな木材利用技術の開発普及に向けた試験研究や、森林の造成に必要な苗木のうち、無花粉スギの開発研究や、少花粉スギの生産拡大に向けて取り組む。

2 令和2年度の取組実績

(1) 県産スギ材でのツーバイフォー部材化に向けた研究

【概要】

県産スギ大径材から2×4材よりも幅の広い2×6材を製材し、木取りと採材枚数を調査するとともに、乾燥による材の収縮、変形量を調査し、歩留りの良い効率的な製造方法を検討した。



スギ大径材の製材

(2) ハタケシメジ野外栽培品種の開発

【概要】

野外栽培に適したハタケシメジの新品種開発を目的に、新たな交配株を作出した。また、この交配株の中から菌糸成長が良好な株を選出の上、栽培試験を行った。

(3) スギ花粉症対策に資する苗木の生産・供給

【概要】

「宮城県スギ花粉発生源対策推進プラン」に基づき、花粉の少ないスギ挿し木苗・種子を生産・供給した。また、供給量の増加に向けた施設整備の準備を進めた。



ハタケシメジ野外栽培品種



少花粉スギ発根済苗の生産



少花粉スギ種子

3 圏域ごとの主な取組

・ 林業技術総合センター

社会的ニーズに対応した森林、林業・木材産業に関する試験研究の推進 P62

主な関係事業

関連事業	事業費 (千円)	担当課・班
県単独試験研究費	1,272	林業技術総合センター
国庫試験研究費	2,292	林業技術総合センター

令和3年度の主な取組

- ツーバイフォー材の効率的製造方法の検討及びスギ部材性能の評価を行う。
- 宮城県産きのこの新品種開発－菌株選抜と栽培試験を継続して実施する。
- スギ花粉症対策苗木増産のためのミストハウスを増設する。

取組 10 森林, 林業・木材産業に対する県民理解の醸成

1 県民の学びをサポートする専門家の養成

主な取組状況

1 取組内容

自然や森林・林業について県民に分かりやすく解説する専門家を養成するため、森林インストラクター及びみやぎ自然環境サポーター養成講座を開催する。

2 令和2年度の実績

(1) 宮城県森林インストラクター養成講座については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止とした。

(2) みやぎ自然環境サポーター養成講座の実施

非営利活動法人宮城県森林インストラクター協会に委託し、講座を実施した。

※1 講座1日で修了する当講座について、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で、開催日数を増講(4回→7回)

【概要】 講座参加者数 94人



みやぎ自然環境サポーター養成講座の様子
(海岸防災林の保育作業)



みやぎ自然環境サポーター養成講座の様子
(刈り払い現地講習)

目標指標

<宮城県森林インストラクター認定者数(人)>

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
【参考値】	【参考値】	【参考値】										【目標】
550	578	607	630	649	649							900

主な関係事業

関連事業	事業費(千円)	担当課・班
森林環境共生育成事業	385	自然保護課みどり保全班

令和3年度の主な取組

- 新型コロナウイルス感染症の発症状況を見極めながら、森林インストラクター及びサポーターの養成講座を開催する。
- 県民参加型の森林整備活動などを通じ、自然環境の保全や、森林、林業・木材産業と生活の関わりについて県民理解の醸成を図る。

2 県民参加の森林づくりによる県民理解の醸成

主な取組状況

1 取組内容

非営利活動法人などが県内各地で行う木育活動の取組を支援する。

2 令和2年度の取組実績

(1) 木育活動の支援

木育活動を行う団体を支援し、子供達をはじめとする県民が木の良さに触れる機会が増えた。

【概要】

- ・木育活動支援団体数 3 団体

(2) 林業体験学習の支援

県民が参加する森づくりイベントや、小中学生等への森林環境教育や林業体験学習の開催を支援した。

【概要】

- ・林業体験学習の支援 27 回



各種イベント等での木育活動

3 圏域ごとの主な取組

- ・北部地方振興事務所栗原地域事務所

宮城県北部流域森林・林業活性化センター栗原支部による木造品寄贈 P53

主な関係事業

関連事業	事業費 (千円)	担当課・班
木の香るおもてなし普及促進事業	1,055	林業振興課みやぎ材流通推進班

令和3年度の主な取組

- 木育活動を支援する。(4件程度)
- 施設の木質化・木製品配備を支援する。(2件程度)
- 森林・林業体験活動等開催を支援する。(26回程度)

<政策Ⅳ 東日本大震災からの復興と発展>

取組 11 海岸防災林の再生と特用林産物の復興

1 海岸防災林の再生と適切な維持管理 【関連：重点プロジェクト5】

主な取組状況

<p>1 取組内容</p> <p>津波により流出、倒木等の甚大な被害が発生した海岸防災林（潮害、飛砂防備保安林）の早期復旧を図る。</p> <p>2 令和2年度の取組実績</p> <p>(1) 海岸防災林の再生 復旧が必要な海岸防災林（民有林）のうち、99%で植栽が完了した。（令和3年4月末ですべての復旧が完了。） また、今後の保育管理の方法等を整理し「宮城県海岸防災林再生整備指針」の改訂を行った。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県事業 17ha ・ 国直轄事業 40ha <p>(2) みやぎ海岸防災林・森林づくり協議会の設立 民間団体等が行う活動を支援するとともに、活動をさらに発展させるため関係市町及び協定団体等と「みやぎ海岸防災林森林づくり協議会」を設立した。</p> <p>【概要】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動団体数 33団体（協定面積146ha） <p>3 圏域ごとの主な取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 仙台地方振興事務所 海岸防災林の適切な維持管理 P50 ・ 林業技術総合センター 海岸防災林の管理や特用林産物の放射性物質対策に関する調査研究の推進 . . . P62 	 <p>海岸防災林の復旧状況</p>
---	--

目標指標

<海岸防災林（民有林）造成面積（ha）>

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
【参考値】	【参考値】	【参考値】										【目標】
162	228	340	558	721	747							750

主な関係事業

関連事業	事業費（千円）	担当課・班
海岸防災林造成事業 （国直轄事業負担金）	77,284	森林整備課治山班
防災林造成事業（復興枠）	611,804	森林整備課治山班

令和3年度の主な取組
<p>■海岸防災林が、飛砂等を防止する機能を十分に発揮できるよう、保育管理を適切に進める。</p> <p>■設立した協議会と協働し、周辺集客施設等とも連携しながら、海岸防災林の保育管理や活用に向けた取組を推進する。</p>

2 福島第一原子力発電所事故による放射能汚染問題への対応

主な取組状況

1 取組内容

特用林産物の出荷制限解除や生産拡大に向け、放射性物質検査の徹底や出荷制限解除に向けた生産資材購入支援等を行う。

2 令和2年度の取組実績

出荷制限解除に向けた支援

特用林産物の生産再開等に向け、放射性物質検査の徹底や生産資材購入支援等を行い、原木しいたけ出荷制限解除生産者数や出荷制限解除市町村・品目が増加した。

【概要】

- ・放射性物質検査（食品） 795件
- ・原木しいたけの出荷制限解除者数2名
- ・生産資材購入支援
（県外からの無汚染の原木購入75名、チップ等導入支援8者）9件
- ・ほだ木等原木林再生実証 25箇所



放射性物質対策を行った
原木しいたけ栽培

3 圏域ごとの主な取組

- ・大河原地方振興事務所
特用林産物出荷制限の解除と安全な流通を推進 P48
- ・仙台地方振興事務所
県内産原木の利用再開と原木しいたけの消費拡大に向けた取組 P50

目標指標

<原木きのこ出荷制限（自粛）解除生産者数（人）>

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
【参考値】	【参考値】	【参考値】										【目標】
22	31	39	44	49	52							66

主な関係事業

関連事業	事業費（千円）	担当課・班
特用林産物放射性物質対策事業	80,902	林業振興課地域林業振興班
きのこ生産資材供給体制整備事業	4,760	林業振興課地域林業振興班
ほだ木等原木林再生実証事業	4,564	林業振興課地域林業振興班
特用林産地振興推進事業	3,336	林業振興課地域林業振興班

令和3年度の主な取組

- 特用林産物の放射性物質検査を徹底し、安全性を確認する。
- 出荷制限解除後の安定した経営体制づくりに向けて、生産資材の購入等の支援を行う。

3 特用林産物の生産性向上と新たな販路や需要の開拓 【関連：重点プロジェクト4】

主な取組状況

1 取組内容

企業等と連携した料理教室や販売会の開催を通じて、特用林産物のPRを図るほか、GAP取得に係る支援を行う。

2 令和2年度の取組実績

(1) 特用林産物のPR

企業等と連携した料理教室や販売会の開催支援を通じて、特用林産物のPRが図られた。

(2) GAP取得支援

東京オリンピック・パラリンピックへの食材供給も視野に入れ、GAP取得を支援した。

【概要】

- ・料理教室の開催 2回
- ・販売会の開催支援 3回
- ・GAP認定支援 累計5件



きのこ料理教室



GAP継続のための支援



原木しいたけを使った料理

3 圏域ごとの主な取組

- ・北部地方振興事務所栗原地域事務所

JGAP認証取得の取組 P54

目標指標

< 特用林産生産施設のGAP認証取得数（件） >

H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9
【参考値】	【参考値】	【参考値】										【目標】
1	2	2	3	5	5							15

主な関係事業

関連事業	事業費（千円）	担当課・班
きのこ生産資材供給体制整備事業	4,760	林業振興課地域林業振興班

令和3年度の主な取組

■特用林産物の販路拡大に向け、企業等と連携した料理教室や販売会の開催等を行い、特用林産物のPRを図る。

取組 12 地域資源をフル活用した震災復興と発展

1 森林認証を核とした地域振興の推進 【関連：重点プロジェクト4】

主な取組状況

1 取組内容

持続可能な森林経営を目指すため、森林認証の取得や森林認証材を使用した製品開発等への支援を行う。



森林認証を受けた森林
(南三陸町)

2 令和2年度の実績

- (1) 森林認証普及活動（セミナー等開催）
森林認証林の面積拡大に向けて、新規取得を検討する事業者等と意見交換会を実施した。

【概要】情報交換会の開催 1回

- (2) 森林認証年次監査の支援
森林認証を取得している団体に対し、取得後の年次監査等に要する経費を助成した。

【概要】年次監査実施 1団体

- (3) 森林認証材使用製品等開発の支援
森林認証材活用品の開発経費を助成した。

【概要】認証材使用製品等開発支援 1団体



森林認証材を活用した模型の試作

3 圏域ごとの主な取組

- ・ 東部地方振興事務所登米地域事務所
F S C森林認証を核とした登米市森林管理協議会の取組支援 P58
- ・ 気仙沼地方振興事務所
南三陸森林管理協議会への活動支援 P60

主な関係事業

関連事業	事業費（千円）	担当課・班
森林マネジメント認証普及促進事業	931	林業振興課企画推進班 林業振興課みやぎ材流通推進班

令和3年度の実績

- 森林認証（新規取得）活動を支援する。（1団体予定）
- 森林認証（面積拡大）活動を支援する。（1団体予定）
- 森林認証の普及啓発活動を支援する。（2団体予定）
- 登米市森林管理協議会が実施するF S C認証製品の安定供給に向けた「林業成長産業化構想（登米地域）」の取組を支援する。

2 震災の教訓伝承と交流人口の拡大 【関連：重点プロジェクト5】

主な取組状況

1 取組内容

「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」による県民参加型の活動を推進し、活動の継続化を支援しながら、海岸防災林の重要性・役割の普及啓発及び海岸防災林の適切な管理を行う。

2 令和2年度の取組実績

(1) みやぎ海岸防災林・森林づくり協議会（以下：協議会）の設立

令和2年12月に「みやぎ海岸防災林・森林づくり管理方針」（以下：管理方針）が策定され、この管理方針を推進するため、令和3年3月に「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」協定団体及び関係市町村等（38団体）で構成する協議会を設立した。

(2) 作業指導講師の派遣

協定団体に対して、植栽及び保育活動の技術的なアドバイスができる講師を派遣し、支援を行った。

【概要】

- ・実施回数 4回（R2.9/20, 10/14, R3.3/6, 3/26）

(3) ワークショップの開催

海岸防災林の重要性の普及啓発のため、パネル展示及びチラシの配布、海岸防災林クイズ、ネイチャークラフト体験等を行った。

【概要】

- ・実施回数 2回（R2.8/28～9/6, 10/20～10/25）

(4) ガイドマップ作成

管理方針に基づき周辺集客施設との連携した取組を推進するため、海岸防災林を中心とした沿岸地域の魅力を広く紹介するガイドマップを作成した。



作業指導講師による技術指導



みやぎの海岸防災林ガイドマップ



主な関係事業

関連事業	事業費（千円）	担当課・班
みやぎ防災林パートナーシップ事業	1,788	森林整備課保安林班

令和3年度の主な取組

■海岸防災林の賑わいづくりのための動画作成，SNS発信，バスツアー，地域づくり研修会を実施するとともに、引き続き、既協定団体等の継続的な活動に対して支援を行っていく。

（動画作成，バスツアー開催3回，地域づくり研修会開催，協議会の開催，ワークショップ2回，作業指導講師の派遣4回予定）

7 重点プロジェクトの取組

県では、4つの政策推進の基本方向に沿ってこの10年間で各種施策を展開していく中で、特に力を入れる取組を「重点プロジェクト」として5つ設定しています。



プロジェクト1 新たな素材需給システムと木材需要創出

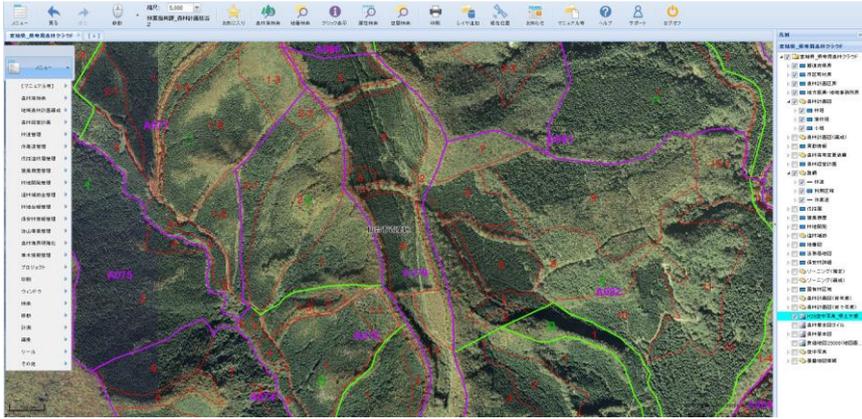
素材生産現場のICT化

取組内容	◆合板用県産材の需給情報の一元管理に向けた取組
令和2年度の実績	<p>●需給調整システムの開発・実証</p> <ul style="list-style-type: none"> 川上側の賦存量・在庫量・出荷量等の情報を集積し、川下側に迅速かつ正確に情報を提供するため、素材一元管理可能なシステムの開発を支援した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div data-bbox="347 1579 805 1892"> <p>工場から出荷情報を入力する タブレット端末と伝票プリンター</p> </div> <div data-bbox="853 1568 1396 1892"> <p>需給調整システムの概要図</p> </div> </div>
令和3年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■地域特性や需要等のニーズに対応した原木流通システムを県内全域に波及させるため、必要なシステム開発及び機器の導入を行う。 ■ドローンや3Dスキャナー等のスマート林業機器の普及推進を行う。

CLT建築の普及等による新たな木材需要創出

<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆「宮城県CLT等普及推進協議会」の活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・CLTを活用した製品の開発，設計・施工技術者の育成活動支援，一般県民への普及活動等を行う。 ◆オールみやぎによるCLT建築物の普及活動支援 <ul style="list-style-type: none"> ・CLT建築のトータルコスト低減に向けた実証，非木造建築分野の需要創出，住宅分野の普及促進等を行う。
<p>令和2年度の実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●技術者育成に向けた取組の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・技術講習会・勉強会 18回(延べ399人) ・県産木材製品等PR 3回(延べ36人) ・先進地視察 5回(延べ229人) ・幹事会等 11回(延べ336人) ●みやぎ木構造現場技術者育成研修(5人) <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>住宅分野での活用</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>CLTを使った本棚</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>製品開発のワークショップ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>CLTを使ったベンチ</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>施工技術者の育成研修</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>開発製品の強度試験</p> </div> </div>
<p>令和3年度の主な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■トータルコスト低減の提案を行う施設建設計画を支援する。(2件予定) ■CLT住宅プランの作成とモデル施工を支援する。(5プラン予定) ■CLT活用技術の創出を支援する。(1件予定)

森林情報等を活用した管理経営の集約化と一貫作業システムの普及

<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆森林情報等を活用した施業・経営の集約化 <ul style="list-style-type: none"> ・森林経営計画の策定率向上に向け、森林所有者や林業事業者等による施業・経営の集約化を図るとともに、森林経営管理制度の運用に必要な林地台帳の整備について市町村を支援する。 ◆一貫作業システムの普及 <ul style="list-style-type: none"> ・人工林伐採後の再造林を推進するとともに、「伐採と造林の一貫作業システム」の普及等による造林コストの低減化に取り組む。
<p>令和2年度の実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●森林経営計画策定の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・クラウドシステムの導入 ・森林情報の適正化 15市町（令和3年度に繰越で実施中） ●再造林の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・造林経費に対する補助 130ha （うち一貫作業システムによる再造林26ha） ※数値は補助事業による実績であり（拡大造林等は含まない）、県全体の実施面積は集計中 ・少花粉スギの増産体制の強化 ・林業の省力化を推進するための森林整備補助事業体系の見直し <div style="text-align: center;">  <p>クラウドシステムの画面</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>一貫作業現場の状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>少花粉スギの育苗（ミストハウス）</p> </div> </div>
<p>令和3年度の主な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■森林施業の集約化に向け、森林情報の適正化と地域森林計画の変更を行う。 ■森林経営計画策定の支援を行い、経営計画の策定率向上を図る。 ■森林資源を持続的に利用するため、再造林の推進を図る。（再造林 約260ha） ■提案型によるモデル的な再造林を支援し、森林整備の省力化・低コスト化を普及する。

儲かる林業実現のための経営者育成

取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ◆森林整備を担う林業事業体の経営改善の支援 ◆高度な技能を有し集約施業を実践する地域リーダーとなる人材の育成 ◆林業就労環境の改善による森林づくりの担い手確保 																												
令和2年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ●経営者研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・生産性の向上に向けた組織改革を行う経営者向けの研修を実施した。(22団体, 22名) ●森林施業プランナー実践研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・生産性の向上や事業量の安定確保ができる人材を育成するための研修を実施した。(7団体, 14名) ●森林施業プランナー養成研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・提案型集約化施業の実践研修等を行った。(6名) ●森林作業道作設オペレーター育成研修の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・認定事業主の就業者を対象に、丈夫で壊れにくい森林作業道作設技術の習得や森林施業プランナーと連携した研修を行った。(5日間, 延べ18名) ●意欲と能力のある林業経営者の選定・公表を行った。(29団体) ●新規就業者確保に向け、山仕事ガイダンスを実施し、林業基礎知識等の講義を行った。(高校生10名, 一般17名) <table border="1" data-bbox="347 1010 1404 1285"> <thead> <tr> <th></th> <th>これから就業する方</th> <th colspan="2">現場技能者</th> <th colspan="2">業務管理者</th> <th>経営者層</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象者</td> <td>未就業者</td> <td>作業班員</td> <td>作業班長</td> <td>プランナー認定希望者</td> <td>プランナー認定者</td> <td>経営者・人事担当者等</td> </tr> <tr> <td>内容</td> <td>業務説明 業務体験</td> <td>安全・技術向上</td> <td>現場管理技術 コーチングスキル</td> <td>プランナー認定を目指す研修</td> <td>実践力向上</td> <td>マネジメント能力向上</td> </tr> <tr> <td>事業名</td> <td>○高校生ガイダンス ○山仕事ガイダンス ○インターン開催支援 ○森林林業人材交流活性化支援事業</td> <td>○森林作業道作設研修(初級・中級) ○森林作業道作設現地検討会</td> <td>○コーチング基礎研修 ○森林作業道作設指導者研修</td> <td>森林施業プランナー養成研修</td> <td>森林施業プランナー実践研修</td> <td>○経営者層研修</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">各種研修制度</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="445 1346 831 1637"> <p style="text-align: center;">林業事業体経営者向け研修</p> </div> <div data-bbox="890 1346 1276 1637"> <p style="text-align: center;">森林施業プランナー実践研修</p> </div> <div data-bbox="445 1688 831 1980"> <p style="text-align: center;">山仕事ガイダンス</p> </div> <div data-bbox="890 1688 1276 1980"> <p style="text-align: center;">オペレーター育成に向けた実習</p> </div> </div>		これから就業する方	現場技能者		業務管理者		経営者層	対象者	未就業者	作業班員	作業班長	プランナー認定希望者	プランナー認定者	経営者・人事担当者等	内容	業務説明 業務体験	安全・技術向上	現場管理技術 コーチングスキル	プランナー認定を目指す研修	実践力向上	マネジメント能力向上	事業名	○高校生ガイダンス ○山仕事ガイダンス ○インターン開催支援 ○森林林業人材交流活性化支援事業	○森林作業道作設研修(初級・中級) ○森林作業道作設現地検討会	○コーチング基礎研修 ○森林作業道作設指導者研修	森林施業プランナー養成研修	森林施業プランナー実践研修	○経営者層研修
	これから就業する方	現場技能者		業務管理者		経営者層																							
対象者	未就業者	作業班員	作業班長	プランナー認定希望者	プランナー認定者	経営者・人事担当者等																							
内容	業務説明 業務体験	安全・技術向上	現場管理技術 コーチングスキル	プランナー認定を目指す研修	実践力向上	マネジメント能力向上																							
事業名	○高校生ガイダンス ○山仕事ガイダンス ○インターン開催支援 ○森林林業人材交流活性化支援事業	○森林作業道作設研修(初級・中級) ○森林作業道作設現地検討会	○コーチング基礎研修 ○森林作業道作設指導者研修	森林施業プランナー養成研修	森林施業プランナー実践研修	○経営者層研修																							
令和3年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■令和2年度まで実施してきた各種研修に加え、土日を中心とした林業基礎知識の習得を目標とした現地研修を新たに行う。 																												

国際森林認証の取得による競争力強化

<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 森林認証の取得支援 ◆ 森林認証材を使用した製品開発等への支援
<p>令和2年度の実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 森林認証普及活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 各種イベント等において、森林認証材の普及PRを行った。 ● 森林認証材使用製品等開発の支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域資源であるコナラ等の有用広葉樹を使い、家具製作事業体の製品づくり等を支援した。 ● 森林認証年次監査の支援 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>森林認証材を使った各種木製品の試作品</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>森林認証広葉樹材家具ブランド 「kitakami」発表展示</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>各種イベント等でのPR活動</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>森林認証を受けた森林（南三陸町）</p> </div> </div>
<p>令和3年度の主な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 森林認証普及活動を行う。 ■ 森林認証(新規取得)活動を支援する。(1団体予定) ■ 森林認証(面積拡大)活動を支援する。(1団体予定) ■ 森林認証の普及啓発活動を支援する。(2団体予定)

民間の力を活用した海岸防災林の管理

<p>取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ◆「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」による県民参加型の海岸防災林管理活動の推進 ◆海岸防災林の重要性・役割の普及啓発
<p>令和2年度の実績</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●みやぎ海岸防災林・森林づくり協議会（以下：協議会）の設立 <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年12月に「みやぎ海岸防災林・森林づくり管理方針」（以下：管理方針）が策定され、この管理方針を推進するため、令和3年3月に「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり活動」協定団体及び関係市町村等（38団体）で構成する協議会を設立した。 ●作業指導講師の派遣 <ul style="list-style-type: none"> ・植栽や下刈りなどの保育管理を行う団体へ技術的なアドバイスができる講師を派遣し、育林活動を支援した。（4回） ●ワークショップの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・海岸防災林の重要性の普及啓発のため、パネル展示及びチラシの配布、海岸防災林クイズ、ネイチャークラフト体験等を行った。（2回） ●ガイドマップ作成 <ul style="list-style-type: none"> ・管理方針に基づき周辺集客施設との連携した取組を推進するため、海岸防災林を中心とした沿岸地域の魅力を広く紹介するガイドマップを作成した。 <div data-bbox="359 1079 869 1415" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="443 1429 762 1460">作業指導講師による技術指導</p> <div data-bbox="885 958 1396 1294" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="997 1308 1268 1339">協定団体による保育活動</p> <div data-bbox="359 1496 869 1832" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="518 1845 694 1877">パネル展示状況</p> <div data-bbox="949 1355 1348 1915" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="957 1928 1324 1960">みやぎの海岸防災林ガイドマップ</p>
<p>令和3年度の主な取組</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■協議会と連携し、海岸防災林の賑わいづくりのための動画作成、SNS発信、バスツアー、地域づくり研修会を実施するとともに、引き続き、既協定団体等の継続的な活動に対して支援を行っていく。

8 各圏域ごとの取組

大河原地方振興事務所

重点推進事項	【政策Ⅰ】林業・木材産業の一層の産業力強化
取組項目	【取組3】持続可能な林業経営の推進
取組内容	森林施業の集約化に向けた森林経営計画の策定及び森林経営管理制度の推進
令和2年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ●森林経営計画について、各事業体からの新規策定や変更に係る相談に対し指導を行ったほか、住民説明会の場で説明を行った。 ●管内市町担当者を参集し、森林経営管理制度等の推進に向けた情報交換会を開催するとともに、意向調査の進め方や森林譲与税活用事業に係る相談対応や助言を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>管内市町との情報交換会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>森林経営管理制度に関する市町との打合せ</p> </div> </div>
令和3年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■森林施業の集約化に向けて、その指針となる市町村森林整備計画の策定・変更並びに、実行プランとなる森林経営計画の作成と実行確保に向けた支援を行う。 ■圏域推進会議の開催及び個別巡回等により、管内各市町の地域性に応じた、適切な森林経営管理制度の定着と森林環境譲与税を活用した取組への支援を行う。

重点推進事項	【政策Ⅱ】森林の持つ多面的機能のさらなる発揮
取組項目	【取組6】自然災害に強い県土の保全対策
取組内容	令和元年東日本台風被害からの復興推進
令和2年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ●治山事業関係 災害関連緊急治山事業14地区、林地荒廃防止事業1地区、県単治山事業5地区において復旧工事に着手した。年度内の工事完成は県単治山事業1地区のみであったが、その他の地区においても順調に進捗が図られている。 ●林道事業関係 林道施設災害復旧事業39路線111箇所（角田市4路線、七ヶ宿町1路線、村田町1路線、柴田町3路線、丸森町30路線）の着手・完成に向け管内市町の支援を行った。丸森町以外は全て完成し、丸森町についても27路線が着手に至った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>災害関連緊急治山事業実施箇所</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>林道施設災害復旧事業実施箇所</p> </div> </div>
令和3年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■治山事業関係 既に着手した災害関連緊急治山事業14地区、林地荒廃防止事業1地区、県単治山事業4地区の早期完成に向けた適切な現場管理を行うとともに、今年度事業である復旧治山事業3地区、緊急総合治山事業2地区、林地荒廃防止事業2地区の早期着手・完成を目指す。 ■林道事業関係 丸森町の林道施設災害復旧事業30路線97箇所の早期完成に向け、適切な事業執行管理や重要変更協議等事務手続に関して支援を行う。

重点推進事項	【政策Ⅲ】 森林、林業・木材産業を支える地域や人材の育成
取組項目	【取組 7】 持続的成長をけん引する経営体や担い手の育成
取組内容	林業技術員の育成及び林業後継者や林業事業体の育成
令和 2 年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ●地元農林高校の 2, 3 年生を対象とした演習林実習において、「宮城の森林・林業」等の講義や、樹高の測定実習を行うとともに、地元森林組合等と連携して高性能林業機械の操作実習等の支援を行った。 ●林業研究グループ「仙南フォレストクラブ」と連携し、地元農林高校等に対して行うインターンシップ活動を支援した。 ●森林施業プランナーの受験者を対象に、試験対策研修会や、林分調査及び森林施業提案書作成等の実習を行った。 ●管内の森林組合や生産森林組合に対して、安全作業の徹底について巡回指導等を行った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>高校生のフォワーダ操作実習の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>作業道の線形検討（グループワーク）の様子</p> </div> </div>
令和 3 年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■地元農林高校に対する実習支援を継続するとともに、一般県民・児童生徒向けの体験学習等の実施を支援する。 ■事業体への巡回指導や労働安全講習の実施、KY活動等の現地指導を通じ、労働災害の未然防止や労働環境の改善に努める。

重点推進事項	【政策Ⅳ】 東日本大震災からの復興と発展
取組項目	【取組 11】 海岸防災林の再生と特用林産物の復興
取組内容	特用林産物出荷制限の解除と安全な流通を推進
令和 2 年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ●令和 2 年 4 月に出荷制限解除となった「栽培ぜんまい」の生産者に対し、適正な生産管理・出荷管理について指導した。 ●説明会等を通じて、国との協議状況や解除条件の情報共有を図った。 ●たけのこについて、国との協議に必要な検査データの整理、竹林の伐竹及びカリウム散布等の低減化対策を実施した。 ●原木しいたけ（露地）について、県栽培作業マニュアルに従った適正な生産工程管理を指導した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>たけのこの出荷制限解除に向けた説明会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>栽培ぜんまいの出荷制限解除説明会</p> </div> </div>
令和 3 年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■特用林産物の出荷制限解除に向け、引き続き放射性物質検査を継続するほか、安全なしいたけ原木の調達支援や、竹林の低減化対策に取り組む。

仙台地方振興事務所

重点推進事項	【政策Ⅰ】林業・木材産業の一層の産業力強化
取組項目	【取組1】県産木材の生産流通改革
取組内容	林道「七ツ森湖～泉ヶ岳線」着手による地域活性化へ向けて
令和2年度の実績	<p>●大和町吉田字旦ノ原地区～仙台市泉区福岡字岳山地区の約8kmについて、全体計画作成及び測量設計（仙台市，大和町それぞれ1,000m）を実施した。</p> <p>この林道整備により、高性能林業機械の利用促進や大型トラック輸送が可能となり、本地域の効率的な森林施業を促し、県産木材の安定供給に大きく寄与するものと期待される。また、泉ヶ岳山麓から七ツ森湖（南川ダム）上流までの一体的な観光資源の魅力が十分発揮されるとともに、災害発生の非常時などに一般公道が不通となった際の迂回路としての役割も期待できる。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>計画路線の現地踏査の状況</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>路線計画</p> </div> </div>
令和3年度の主な取組	■工事の施工は、2工区（七ツ森湖工区，泉ヶ岳工区）で実施。

重点推進事項	【政策Ⅱ】森林の持つ多面的機能のさらなる発揮
取組項目	【取組5】多様に富む健全な森林づくりの推進
取組内容	松くい虫被害対策の推進と松林景観保全に向けた市町村との連携
令和2年度の実績	<p>●関係市町と連携して松くい虫被害防除事業（薬剤散布，伐倒駆除）を実施した。（管内の特別名勝「松島」地域における被害量は前年比87%の2,479㎡に減少）</p> <p>●市町村担当者のスキルアップを目的とした実務研修会を開催するとともに、被害状況のパトロールを実施し、松くい虫被害防除事業の適切な実施を支援した。</p> <p>●特別名勝「松島」地域の市町等による松林景観保全検討会を開催し、松林景観の保全に向け市町との連携を強化した。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>スパウターによる地上からの薬剤散布</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>松林景観保全検討会での洋上調査</p> </div> </div>
令和3年度の主な取組	<p>■松くい虫被害防除事業（薬剤散布，樹幹注入，伐倒駆除）を実施する。</p> <p>■市町村担当者を対象とした研修会の開催などの市町村の実行支援を行う。</p> <p>■特別名勝「松島」における松林景観保全に向け支援を行う。</p>

重点推進事項	【政策Ⅳ】東日本大震災からの復興と発展
取組項目	【取組 1 1】海岸防災林の再生と特用林産物の復興
取組内容	県内産原木の利用再開と原木しいたけの消費拡大に向けた取組
令和 2 年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ●管内生産者の協力を得て、県内産原木による試験栽培に取り組み、非破壊検査器による原木の放射性物質濃度の測定や子実体の測定を行い、早期の利用再開に向けたデータ集積を行った。 ●生産者や関係団体等で構成する「露地栽培原木しいたけ生産推進協議会」と連携し、直売所やスーパーマーケットにおいて、植菌体験や試食販売等のPRイベントを開催し、原木しいたけの安全性などの理解を広め、消費の拡大を図った。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>非破壊検査器による原木の測定</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>秋保ヴィレッジでの植菌体験会</p> </div> </div>
令和 3 年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■試験研究機関等との連携による県内産原木の利用再開手法の検討を行う。 ■生産者等との協働による特用林産物のPRイベントを開催する。

重点推進事項	【政策Ⅳ】東日本大震災からの復興と発展
取組項目	【取組 1 1】海岸防災林の再生と特用林産物の復興
取組内容	海岸防災林の適切な維持管理
令和 2 年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ●東日本大震災により被災した海岸防災林の復旧が全て完了し、潮害や飛砂などを防ぐ保安林機能の増進を図るため、保育管理を適正に実施した。 <p>地区数：3地区（菖蒲田浜，蛭塚，中浜） 面積：8.52ha（下刈，つる切り等）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>下刈り等による適正な保育管理</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>亙理地区海岸防災林</p> </div> </div>
令和 3 年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■国が民有林直轄治山事業で復旧し，令和 2 年度に移管された海岸防災林等の適切な維持管理（下刈等）を行う。

重点推進事項	【政策Ⅰ】林業・木材産業の一層の産業力強化
取組項目	【取組3】持続可能な林業経営の推進
取組内容	森林経営管理制度推進に向けた市町支援
令和2年度の実績	<p>●「森林経営管理法」が施行され、市町村が森林所有者と担い手をつなぎ森林を適正に管理する「森林管理制度」を推進するため市町村支援を行った。そこで、近年、集中豪雨や台風災害等による甚大な森林被害が発生しているため、同制度による森林環境譲与税を活用した適切な森林整備事業の実施に向けた市町に対する支援により、林道の補修・点検や、道刈のほか、危険木の伐採等森林整備事業の実施につなげることが出来た。</p> <p>●管内の全ての市町で意向調査を実施し、今後取り組む集積計画について圏域推進会議で意見交換を行った。</p> <p>意見交換では、林業の専門的知識を有する職員がいないことやマンパワー不足で実施体制が脆弱なこと、外部委託は業界全体が人材不足のため従事する人材の確保が難しい等、実施体制の強化が必要であるとの意見が出された。</p> <p>そのため、隣接する自治体が連携し実施体制を整備している事例について情報提供し、実施体制強化について検討した。</p>
令和3年度の主な取組	<p>■今後、森林組合をはじめ、関係機関との話し合いを設け、関係機関との実施体制強化に向けた協力体制の整備について引き続き支援していくこととしている。</p>



圏域推進会議の様子

重点推進事項	【政策Ⅱ】森林の持つ多面的機能のさらなる発揮
取組項目	【取組5】多様性に富む健全な森林づくりの推進
取組内容	ナラ枯れ被害調査の研修会開催
令和2年度の実績	<p>●近年、管内でのナラ枯れ被害は確認されていなかったが、令和2年度は梅雨明けから里山を中心にナラ枯れが発生し、小牛田農林高等学校の学校林内でもナラ枯れ被害があるとの連絡を受けた。そのため、学校林を会場に市町の担当者や森林組合及び学校林の管理に取組む団体等を対象に、ナラ枯れ被害状況調査の適切な実施について研修会を開催した。</p> <p>研修を通じ、ナラ枯れの特徴やメカニズム、被害状況調査の方法について理解を深めてもらうことができた。また、ナラ枯れ防除に活用できる事業を説明するとともに、森林病虫害防除事業の重要性について普及することができた。</p>
令和3年度の主な取組	<p>■市町の担当者を初め関係者に対して、被害量調査や防除事業の適切な実施について継続的に支援することとしている。</p>



ナラ枯れ被害調査研修会の様子

重点推進事項	【政策Ⅱ】森林の持つ多面的機能のさらなる発揮
取組項目	【取組6】自然災害に強い県土の保全対策
取組内容	令和元年東日本台風による災害関連緊急治山工事
令和2年度の実績	<p>●東日本台風により荒廃した溪流や崩壊した山腹斜面の早急な整備を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害関連緊急治山事業 2箇所 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 5px;"> 大崎市（城山） 涌谷町（不動沢） </div>
令和3年度の主な取組	<p>■山地災害予防のための治山施設の整備</p> <p>■既存治山施設の機能強化・老朽化対策</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山地治山事業 3箇所 ・県単治山事業 1箇所

重点推進事項	【政策Ⅲ】森林、林業・木材産業を支える地域や人材の育成
取組項目	【取組7】持続的成長をけん引する経営体や担い手の育成
取組内容	林業技術者の育成支援について
令和2年度の実績	<p>●本格的な利用期を迎えた人工林の森林資源を循環利用させるため、森林施業を計画的に実践する人材の確保・育成が必要となっている。そのため当管内では、森林組合の森林施業プランナーのほか、加美町と色麻町の直営作業員を対象とした技術者育成研修会に取り組んだ。</p> <p>研修では、本格的な利用期を向かえる町有林の間伐や皆伐・再造林を推進するため、町の直営作業班員のスキルアップ研修として、レーザー距離計「トゥルーパル360」による測量研修、森林作業道開設に必要な基礎知識とルート選定のポイントに係る現地研修及び町有林での収穫量調査研修を行った。また、森林施業プランナーに対しては、森林経営計画による効率的な森林整備のフォローアップ研修に取り組んだ。</p> <p>研修の結果、測量研修では、従来のコンパス測量との労働生産性を比較し、現場作業の効率化や省力化について促す機会となったほか、森林作業道を検討する上で必要な基礎知識を普及することができた。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  <p>大崎森林組合 森林施業プランナー に対する測量現地研修の様子</p> </div>
令和3年度の主な取組	<p>■今後はスマート林業化の推進が課題となっていくことから、ドローン等の活用により、労働力不足が深刻な現場作業の省力化や労働安全の確保等、必要に応じICT技術に関する情報提供や導入について支援を行う予定。</p>

北部地方振興事務所栗原地域事務所

重点推進事項	【政策Ⅰ】林業・木材産業の一層の産業力強化
取組項目	【取組3】持続可能な林業経営の推進
取組内容	栗原市における森林経営管理制度の取組
令和2年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ●栗原市内2地区（若柳地区，金成地区）において，経営管理権集積計画の策定に向けた森林所有者意向調査の業務支援を行った。 ●森林所有者への制度説明会実施を支援した。
令和3年度の主な取組	■令和元年度実施の意向調査結果により，経営管理権集積計画を策定する予定

重点推進事項	【政策Ⅱ】森林の持つ多面的機能のさらなる発揮
取組項目	【取組6】自然災害に強い県土の保全対策
取組内容	治山事業の着実な実施
令和2年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ●荒廃山地の復旧や山地災害の防止を図るため，奥地保安林保全緊急対策事業（3地区），機能強化・老朽化対策事業（1地区）及び県単治山事業（1地区）を活用した治山工事を実施した。 ●保安林等の機能を強化するため，本数調整伐（1地区）及び下刈（2地区）を実施したほか，野兎食害の発生地域で忌避剤散布（1地区）を実施した。
	 
令和3年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■治山工事 谷止工 N= 1基 【木鉢沢(旧栗駒)】 ■保安林等の森林整備 <ul style="list-style-type: none"> (1) 本数調整伐 A= 11.58ha 【西山外(旧栗駒)】 (2) 下刈 A= 9.67ha 【霊堂沢(旧金成)，東沼ヶ森(旧栗駒)】 (3) 忌避剤散布 A= 6.94ha 【東沼ヶ森(旧栗駒)】

重点推進事項	【政策Ⅲ】森林，林業・木材産業を支える地域や人材の育成
取組項目	【取組10】森林，林業・木材産業に対する県民理解の醸成
取組内容	宮城北部流域森林・林業活性化センター栗原支部による木製品寄贈
令和2年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ●保育園児向けに地域産材（スギ）の椅子10脚を製作，寄贈した。 ●木製品との日常的なふれあいを通じ，木の良さに親しんでもらった。
	 
令和3年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ●公共施設の木造化促進に関する栗原市への要望活動を行う。 ●市内保育園等への木製品寄贈を継続して行う。

重点推進事項	【政策Ⅲ】 森林、林業・木材産業を支える地域や人材の育成
取組項目	【取組 8】 地域・産業間の連携による地域産業の育成
取組内容	苔産地化の取組
令和 2 年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ●苔生産者等へ苔栽培、苔製品作製、苔庭講習など、技術研修を支援した。 ●「くりはらの苔ふれあいフェア」(10月実施)の開催支援と来訪者への苔PRを行い、「くりはらの苔」について知名度アップを図った。 ●苔の栽培技術向上を目指し、苔の種類に応じた栽培圃場調査を実施した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 苔テラリウム等商品化研修会 くりはらの苔ふれあいフェアの状況 </p>
令和 3 年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■苔栽培の技術向上と商品化に向けた講習会等の支援を行う。 ■苔の利用拡大に向けた関係者との連携を強化する。 ■苔PRイベント開催の検討と支援を行う。

重点推進事項	【政策Ⅳ】 東日本大震災からの復興と発展
取組項目	【取組 1 2】 特用林産物の生産性向上と新たな販路や需要の開拓
取組内容	JGAP (農業生産工程管理) 認証取得の取組
令和 2 年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ●より安全・安心な「なめこ」づくりを目指し、JGAP (農業生産工程管理) 認証の取得を支援し、令和 2 年 4 月に認証を受けた。 ●認証後も約 120 項目の生産管理の資料作成などを支援した。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p style="display: flex; justify-content: space-around;"> 日常点検資料作成に係る支援の様子 なめこの出荷作業の様子 </p>
令和 3 年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■適正な生産工程管理の資料整備や社内研修の支援を行う。 ■生産工程管理に取り組む事業体の拡大に向けた支援を行う。

東部地方振興事務所

重点推進事項	【政策Ⅰ】林業・木材産業の一層の産業力強化
取組項目	【取組Ⅰ】県産木材の需要創出とシェア拡大
取組内容	「スマート林業」の推進に向けた取組
令和2年度の実績	<p>●就業環境の効率化・省力化を推進している石巻地区森林組合に対して、植栽作業や森林調査の効率化を図る目的で、苗木運搬ドローン及び測量用ドローンの購入について支援を行った結果、導入に至り、現場において活用が図られ「スマート林業」の先進事例となっている。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>苗木運搬ドローン1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>造林地における運搬状況</p> </div> </div>
令和3年度の主な取組	<p>■ICTを活用した素材流通管理やドローンによる森林自然調査など、林業事業者等が行う「スマート林業」の取組について、継続して支援を行う。</p>

重点推進事項	【政策Ⅰ】林業・木材産業の一層の産業力強化
取組項目	【取組Ⅰ】県産木材の需要創出とシェア拡大
取組内容	合板用県産材の供給等に関する取組
令和2年度の実績	<p>●合板用県産材の需給ギャップ解消と需要拡大を図るため、宮城北部流域森林・林業活性化センター石巻支部と連携して検討会、調整会議等を実施した。</p> <p>●県産材の需給状況や課題等の検討、月別の実績及び計画の共有を図るため、調整会議を年2回実施した。</p> <p>●県産の合板用原木の品質向上を図るとともに、原木の供給者・需要者双方が業務や現場について理解するための研修会を年1回実施した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>調整会議の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>研修会の様子</p> </div> </div>
令和3年度の主な取組	<p>■川上と川下の需給ギャップ解消に向けた会議を開催する。</p> <p>■効果的な原木安定供給体制構築への支援を行う。</p>

重点推進事項	【施策Ⅱ】森林の持つ多面的機能のさらなる発揮
取組項目	【取組4】資源の循環利用を通じた森林の整備
取組内容	再造林の促進に向けた取組
令和2年度の実績	<p>●伐採跡地における再造林を促進し、森林資源の維持・増進を図ることで、持続可能な林業経営を目指すため、(株)山大、石巻地区森林組合、東部地方振興事務所(担当:林業振興部)の3者で「石巻圏域における再造林促進に関する協定」の締結を行った。</p> <p>【各者の役割】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○株式会社山大(再造林に向けたスギ花粉症対策苗木の提供) ○石巻地区森林組合(再造林箇所の選定、苗木の植栽) ○東部地方振興事務所(再造林の実施確認、取組PR) <p>●「石巻圏域における再造林促進に関する協定」に基づいて再造林が開始されることを記念しての植樹式を行った。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>3者協定締結の様子</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>植樹式</p> </div> </div>
令和3年度の実績	<p>■協定に基づく再造林の継続支援を行う。</p> <p>■再造林実施への支援及び低コスト化に向けた技術支援を行う。</p>

重点推進事項	【施策Ⅱ】森林の持つ多面的機能のさらなる発揮
取組項目	【取組5】多様性に富む健全な森林づくりの推進
取組内容	松くい虫被害対策及びニホンジカ被害対策に向けた取組
令和2年度の実績	<p>●松くい虫の適正駆除の徹底に向けた関係者の意識改革として、関係機関との打合せ会議や、連携した被害木調査を実施した。</p> <p>●伐倒駆除においては、処理の優先度を設定し、適正な処理を行った。</p> <p>●効果的な森林病虫害の防除を実施するため、高度公益機能森林、被害拡大防止森林及び特別防除に伴う対象区域の見直しを行った。</p> <p>●ニホンジカ対策として、広域防鹿柵の設置ルートや防鹿柵の資材・設置方法について支援を行い、女川町において、390mの防鹿柵設置が完了した。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>関係機関との打合せ</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>防鹿柵設置状況</p> </div> </div>
令和3年度の実績	<p>■市町村向け「松くい虫被害木処理マニュアル」を策定する。</p> <p>■防鹿柵設置における、設置区域、資材選定及び設計積算の支援を行う。</p>

東部地方振興事務所登米地域事務所

重点推進事項	【政策Ⅰ】林業・木材産業の一層の産業力強化
取組項目	【取組1】県産木材の生産流通改革
取組内容	ICTサプライチェーンマネジメントシステムの推進
令和2年度の実績	<p>●ICT活用による、サプライチェーンマネジメントプラットフォームの構築を進めた。</p> <p>具体的には、土場から出荷情報を入力するタブレット端末の伝票入力システムを完成させ、必要な情報を確実に記録するとともに、自動計算等により作業ミスを減らし、事務の効率化と認証材のトレーサビリティの正当性の担保を図ることが可能となった。</p>
令和3年度の主な取組	<p>■タブレット端末を用いた伝票入力システムの本格運用を開始する。</p>



タブレット端末と伝票プリンター

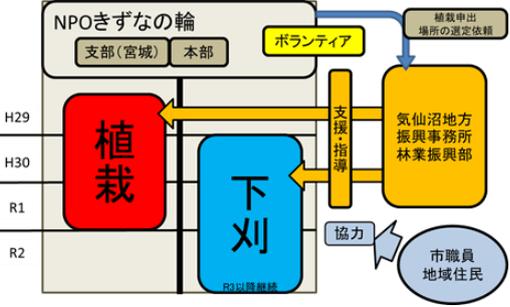
重点推進事項	【政策Ⅱ】森林の持つ多面的機能のさらなる発揮
取組項目	【取組4】資源の循環利用を通じた森林の整備
取組内容	一貫作業システムを活用した再造林の推進
令和2年度の実績	<p>●伐採から植栽までの一貫作業による再造林に対して支援し、4箇所・約5haで実施された。</p> <p>●管内における再造林の新たな課題として、ニホンジカによる植栽木の食害への対策があり、効果的な植栽方法や防除方法を確立するため、特に被害が顕著な津山地域に試験区0.2haを設置して、単木防除資材を使用した再造林地でのニホンジカ防除対策の効果調査を開始した。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>シカ単木防除試験施工地</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>シカに引き抜かれたスギコンテナ苗木</p> </div> </div>
令和3年度の主な取組	<p>■適切な獣害対策と組み合わせた再造林に対する支援を行う。</p> <p>■単木防除資材の効果に係る調査を継続して実施する。</p>

重点推進事項	【政策Ⅲ】森林、林業・木材産業を支える地域や人材の育成
取組項目	【取組7】持続的成長をけん引する経営体や担い手の育成
取組内容	登米市小学生への林業体験の実施
令和2年度の実績	<p>●地域に根ざした活動として定着している津山町林業研究会が主催する登米市津山町横山地区及び柳津地区の小学生を対象とした林業体験会（特用林産（ワサビ栽培）、植林、製炭について計3回、延べ65名）に協力した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>植林体験</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ワサビ栽培体験</p> </div> </div>
令和3年度の主な取組	■森林・林業教育やインターンシップ等の担い手確保対策への支援を行う。

重点推進事項	【政策Ⅳ】森林、林業・木材産業を支える地域や人材の育成
取組項目	【取組12】地域・産業間の連携による地域産業の育成
取組内容	F S C森林認証を核とした登米市森林管理協議会の取組支援
令和2年度の実績	<p>●スギ大径材の新たな用途開発の一環で、クッションに海藻を利用したスツールと椅子を製作した。また、公園の事務所等に活用可能な木製コンテナハウスを試作した。</p> <p>●令和元年度に「仙台箆笥」の技術を活用して試作したチェストについて製品化し、6月に仙台市内のイベントで展示・販売した。</p> <p>●F S C認証広葉樹材家具ブランド「k i t a k a m i」の新たな試作品製作及び製品化に取り組み、オンラインライブ展示会によるPR活動を実施した。</p> <p>●登米市森林管理協議会及び県、施設担当で協議を重ねた結果、F S C認証広葉樹材の認知拡大を図るため、一般利用者等に対する普及効果の高い大型ショッピングモールにおいて、認証広葉樹フローリング材を活用したモデル施工を実現した。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>スギ柱目材活用チェスト</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>認証広葉樹を活用した利府町マップ</p> </div> </div>
令和3年度の主な取組	<p>■認証材の安定供給体制を構築する。</p> <p>■認証材を活用した商品開発と普及PRを実施する。</p> <p>■登米地域林業成長産業化地域構想推進委員会を開催する。</p>

気仙沼地方振興事務所

重点推進事項	【政策Ⅰ】 林業・木材産業の一層の産業力強化
取組項目	【取組3】 持続可能な林業経営の推進
取組内容	森林経営管理制度の円滑な推進に向けて
令和2年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ●気仙沼市による、月立北部地区における経営管理権集積計画の策定に向けた意向調査への支援を行った。 ●新型コロナウイルス対策を図りながら、所有者に寄り添う形で行われた気仙沼市による個別説明会を支援した。
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>関係者による定例会</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>所有者への個別説明会</p> </div> </div>
令和3年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■現地調査資料の作成及び経営管理権集積計画の策定支援を行う。 ■別地区（本吉地域）における意向調査の支援を行う。 ■圏域会議等の開催による森林経営管理制度推進に向けた指導助言を行う。

重点推進事項	【政策Ⅱ】 森林の持つ多面的機能のさらなる発揮
取組項目	【取組5】 多様性に富む健全な森林づくりの推進
取組内容	観光資源としても重要な松林の後継樹を育てる
令和2年度の実績	<ul style="list-style-type: none"> ●複雑なリアス式海岸と松で構成される本地域を代表する景勝地において、松くい虫被害が拡大したため、特定非営利活動法人が主体となって抵抗性クロマツを植栽し松林の再生を図った箇所の下刈作業を支援・指導した。 ●植栽したクロマツが枯損することなく順調に生育し、植栽木以外の実生の個体も生育するなど、松林の再生が進んでいることを確認した。
	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p>取組概要図</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>抵抗性クロマツ植栽地の下刈</p> </div> </div>
令和3年度の主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ■植栽に比べ人手の集まりにくい保育作業の継続に向けた指導・支援を行う。 ■松と海岸植物が共存した豊かで特色ある植生環境作りに向けた指導助言を行う。

重点推進事項	【政策Ⅲ】森林、林業・木材産業を支える地域や人材の育成
取組項目	【取組 7】持続的成長をけん引する経営体や担い手の育成
取組内容	意欲ある多様な人材育成に向けて
令和 2 年度の実績	<p>●自伐型林業事業体が実施する間伐箇所の計画検討や現地指導、書類作成の支援等を行うことで、年間 20ha 以上の間伐実施と 3,000m 以上の作業道が開設された。さらに、森林経営計画の作成について指導・支援を行うことで、新規認定に繋がった。</p> <p>●作業道開設前の現地踏査や線形検討の支援を行うとともに、測量機器の操作などの技術指導を行い、自伐型林業事業体のスキルアップを図った。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>作業道開設前の現地線形踏査</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>施業地外周の測量支援・指導</p> </div> </div>
令和 3 年度の主な取組	<p>■新規参入する自伐型林業事業体への助成事業の斡旋や現地指導・支援を継続して実施する。</p> <p>■自伐型林業におけるスマート林業化の検討を行う。</p>

重点推進事項	【政策Ⅳ】東日本大震災からの復興と発展
取組項目	【取組 1 2】地域資源をフル活用した震災復興と発展
取組内容	南三陸森林管理協議会への活動支援
令和 2 年度の実績	<p>●毎月開催する F S C（FM 部会）定例会で認証材の需要拡大への取組を進めると共に、C o C 認証事業体と F S C 製品の製造・施工に関する連絡体制を構築するための C o C 部会の設立について支援を行った。さらに新たに森林認証を検討している他市町との情報共有を図った。</p> <p>●F S C 更新審査にオブザーバーとして出席し、助言を行い認証期間が更新された。</p>
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>更新審査（書類審査）</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>更新審査（現地審査）</p> </div> </div>
令和 3 年度の主な取組	<p>■製品化に向けた具体的な取組や試作品等による首都圏での展示 P R の助言を行う。</p> <p>■F S C 認証の知名度アップに向けた活動による南三陸町産木材のブランド化を図る。</p> <p>■広葉樹の活用に向けた検討を行う。</p>

林業技術総合センター

重点推進事項	【政策Ⅱ】森林の持つ多面的機能のさらなる発揮																								
取組項目	【取組4】資源の循環利用を通じた森林の整備																								
取組内容	効果的な再造林に貢献する調査・事業の推進																								
令和2年度の実績	<p>●優良種苗確保対策・品種改良事業</p> <p>林業収益性向上に寄与する優良な造林用育種種子の安定的な生産・供給と、海岸防災林の再生・機能強化に必要な抵抗性クロマツ種子の生産・供給に取り組んだ。</p> <p>令和2年度種苗販売実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="6">種子</th> <th>少花粉</th> <th>少花粉</th> </tr> <tr> <th>スギ</th> <th>少花粉スギ</th> <th>ヒノキ</th> <th>抵抗性 アカマツ</th> <th>抵抗性 クロマツ</th> <th>計</th> <th>スギ挿木苗</th> <th>スギ挿穂</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>51.3kg</td> <td>0.6kg</td> <td>20.7kg</td> <td>1.7kg</td> <td>1kg</td> <td>75.3kg</td> <td>74,100本</td> <td>12,444本</td> </tr> </tbody> </table>  <p>一貫作業現場の状況</p> <p>●一貫作業の導入における最適な作業システム構築に関する調査 過去の一貫作業事例について調査するとともに、作業効率等の算出を行った。また、令和2年度に実施された3つの一貫作業地で現地調査を行った。</p>	種子						少花粉	少花粉	スギ	少花粉スギ	ヒノキ	抵抗性 アカマツ	抵抗性 クロマツ	計	スギ挿木苗	スギ挿穂	51.3kg	0.6kg	20.7kg	1.7kg	1kg	75.3kg	74,100本	12,444本
種子						少花粉	少花粉																		
スギ	少花粉スギ	ヒノキ	抵抗性 アカマツ	抵抗性 クロマツ	計	スギ挿木苗	スギ挿穂																		
51.3kg	0.6kg	20.7kg	1.7kg	1kg	75.3kg	74,100本	12,444本																		
令和3年度の主な取組	<p>■特定母樹採種園の造成，品種登録申請，抵抗性クロマツ接種試験等を行う。</p> <p>■一貫作業に関する普及活動等を実施する。</p>																								

重点推進事項	【政策Ⅱ】森林の持つ多面的機能のさらなる発揮
取組項目	【取組5】多様性に富む健全な森林づくりの推進
取組内容	獣害を受けた森林の復元や捕獲対策の検証と実証
令和2年度の実績	<p>●ニホンジカの効率的な捕獲方法に関する検討と実証</p> <p>石巻市河北地区及び雄勝地区において餌誘引くりわなの実証試験を，また，石巻市渡波地区において餌誘引定点狙撃の実証試験を行った。</p> <p>●ニホンジカの強度採食圧を受けた未植栽地における森林の復元に関する調査</p> <p>未植栽地での更新について，天然更新と更新補助作業を行った場合で植物の発生状況が異なるか調査した。また，クリとヤマザクラの植栽後の生育状況を下刈りの有無別に追跡調査した。</p>
令和3年度の主な取組	<p>■餌誘引くりわなの実証試験を継続して実施する。</p> <p>■植栽木生長量調査及び天然更新補助作業の効果検証を継続して実施する。</p>

重点推進事項	【政策Ⅲ】森林，林業・木材産業を支える地域や人材の育成
取組項目	【取組7】持続的成長をけん引する経営体や担い手の育成
取組内容	林業就業者の確保・育成に向けた効果的な研修の実施
令和2年度の実績	<p>●普及活動高度化特別対策事業及び林業担い手等育成・支援事業</p> <p>普及指導活動に必要な知識や技術の習得に向け，普及指導員への研修を実施した他，林業教室や市町村職員研修等の森林・林業基礎研修を実施した。また，林業団体主催研修の講師を務めた。</p>  <p>伐倒練習機による技能研修</p> <p>●みやぎ森林・林業未来創造機構の設立</p> <p>「就業環境向上」と「人材の確保・育成」の推進母体となる「みやぎ森林・林業未来創造機構」を設立し，担い手の現状と課題の分析や，関係者からの意見聴取等を行い，「みやぎ森林・林業未来創造カレッジ」の開校に向けた検討を開始した。</p>
令和3年度の主な取組	<p>■普及活動高度化特別対策事業，林業担い手等育成・支援事業を継続して実施する。</p> <p>■みやぎ森林・林業未来創造機構の運営，カレッジの部分開校・研修の開始。</p>

重点推進事項	【政策Ⅲ】森林、林業・木材産業を支える地域や人材の育成
取組項目	【取組 9】新たな森林、林業・木材産業関連技術の開発・改良
取組内容	社会的ニーズに対応した森林、林業・木材産業に関する試験研究の推進
令和 2 年度の実績	<p>● ツーバイフォー建築に求められる県産スギ部材の開発 県産スギ大径材から 2×4 材よりも幅の広い 2×6 材を製材し、木取りと採材枚数を調査した。また、乾燥による材の収縮、変形量を調査し適正な製材歩増し量を求めた。これらの結果により歩留りの良い効率的製造方法を検討した。</p>  <p style="text-align: right;">スギ大径材の製材</p> <p>● ハタケシメジ野外栽培品種の開発 野外栽培に適したハタケシメジの新品種開発を目的に、県登録品種とセンター保有の野生由来菌株の選抜株を交配し、新たな交配株を作出した。また、この交配株の中から菌糸生長が良好な株を選出の上、栽培試験に供して、子実体の発生状況を観察した。</p>  <p style="text-align: right;">少花粉スギ挿木苗</p> <p>● スギ花粉症対策に資する苗木の生産・供給 スギ花粉症対策として「宮城県スギ花粉発生源対策推進プラン」に基づき、花粉の少ないスギ挿し木苗・種子を生産・供給した。また、供給量の増加に向けた施設整備の準備を進めた。</p>
令和 3 年度の主な取組	<p>■ ツーバイフォー材の効率的製造方法の検討及びスギ部材性能の評価を行う。</p> <p>■ 宮城県産きのこの新品種開発一菌株選抜と栽培試験を継続して実施する。</p> <p>■ スギ花粉症対策苗木増産のためのミストハウスを増設する。</p>

重点推進事項	【政策Ⅳ】東日本大震災からの復興と発展
取組項目	【取組 1 1】海岸防災林の再生と特用林産物の復興
取組内容	海岸防災林の管理や特用林産物の放射性物質対策に関する調査研究の推進
令和 2 年度の実績	<p>● 野生特用林産物の放射性物質汚染状況把握及び汚染低減化に関する研究 スギ林及び広葉樹林に自生する山菜並びに土壌、落葉等の放射性物質濃度を測定した。また、竹林 2 箇所において、除染作業の有無によるタケノコや桿等の放射性物質濃度の差違を測定した。</p> <p>● しいたけ原木林の利用再開に向けた萌芽枝等の放射性物質推移に関する研究 平成 26～28 年に伐採した県内 25 箇所の調査地において、発生した萌芽枝とその着葉、当年枝、周辺土壌を採取し、ゲルマニウム半導体検出器を用いて放射性物質濃度の測定を行い、推移を追跡した。</p>  <p style="text-align: right;">萌芽枝の採取</p> <p>● 生育基盤盛土を伴うクロマツ海岸防災林の健全化に向けた調査 亘理町及び山元町のクロマツ海岸防災林においてクロマツの生長量調査や生育基盤盛土の土壌調査を行い分析した。</p>  <p style="text-align: right;">クロマツ海岸防災林</p>
令和 3 年度の主な取組	<p>■ モウソウチク除染効果調査、山菜の汚染低減化試験等を継続して実施する。</p> <p>■ 萌芽枝等の放射性物質推移に関する研究を継続して実施する。</p> <p>■ クロマツ生長量調査、土壌調査等を継続して実施する。</p>

